

# maturity

マチュリテイ

2015-JUL

101

公益社団法人 日本産業退職者協会

JARP

# maturity

東日本大震災で被災された方々と  
そのご家族の皆さまに  
心からお見舞い申し上げます。  
皆さまの安全と被災地の一日も早い  
復旧・復興をお祈り申し上げます。

公益社団法人 日本産業退職者協会  
理事長 榎本 郁夫

2011年3月11日の大震災による未曾有の惨状に対し、全国  
民が一樣に心を痛めております。

「社会に役立ち社会を明るくする活動」を積極的に展開する当協会  
は被災地域の一日も早い復旧を願うとともに、会員の皆様に救援  
募金を呼びかけております。

どうかご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。(事務局)

郵便振替 口座番号 00130 - 3 - 139353

加入者 公益社団法人 日本産業退職者協会

- ・振込手続には、すでにお送りしてある払込取扱票をご利用ください。
- ・おそれいりますが、振込手数料はご負担願います。

なお、当協会では協会の情報提供誌「Rプラン生活情報誌」及び「私の大切な覚書き」の頒布収入の1%を災害義援基金等に寄付いたします。

公益社団法人 **日本産業退職者協会 ( JARP )**  
Japan Association of Retired Industrial Persons

# 目次 **maturity** 2015年／第101号

特 集	家族と自分のための認知症 誰も知らない新治療 ..... 川並 汪一	2
ふれあい トークサロン	第二十一回 太田道灌十八代子孫が目指す 江戸城天守再建のロマン ..... 太田 資暁	8
	第二十二回 最近の中国金融経済情勢と金融制度改革 ..... 岡寄久実子	11
社員総会報告	創立三十周年の取り組みと成果 —平成二十七年度定時社員総会— ..... 事務局	15
社会貢献活動	皆様に支えられている社会貢献 ..... 山鹿 素雄	18
マチュリティ 談話室	真夜中の叫び ..... 大石 裕子	19
	私の楽しみ ..... 太田 祥子	19
	忘れられない一曲 ..... 黒木 重昭	20
	競馬の楽しみ方 ..... 新延 伸雄	21
	絵画オークション(クリスティーズ)の思い出 ..... 福島 龍郎	22
ひとこと 「和食」	伊藤春江／大亀尚志／奥村 進／香藤厚子 川口 喬／菊池正美／佐久間征二／高島和子 田村俊子／樽谷 彰／土井祥平／富川 正 外前田恵／湯藤洋子／横堀尚昭 .....	23
イベントだより	囲碁会／江戸東京歴史散歩の会／園芸クラブ 鎌倉探訪／カラオケ同好会／木楽会 詩吟同好会／自然を楽しむ会／水墨画教室 竹とんぼ同好会／デジカメクラブ／PCクラブ 歴史を考える会 .....	25
首都圏だより	神奈川会／京葉会／埼玉会／西東京会 .....	34
広島支部だより	女性バラエティ同好会 .....	39
役員名簿／編集後記	.....	40
法人・団体 会員名簿	.....	41

表紙写真／「巨樹の生命」(トチの木) (甲府クリスタルラインにて) 水島正利  
裏表紙 (会員作品)／岡野 静江／富川 正／小林 敏彦 (広島)

# 家族と自分のための認知症 誰も知らない新治療

新宿漢方クリニック 院長  
 一般社団法人 老人病研究会 会長  
 川並 汪一

## I 高齢社会の目覚ましい潮流

2015年の日本における認知症の人は462万人、予備軍が400万人です。団塊世代が後期高齢者になる2025年には700万人に達する予想です。

そこで読者の皆さまにお尋ねします。

【問1】 高齢化へのスピードは「日本が世界で断然トップ」と信じますか？

【問2】 日本の介護現場はアジア諸国と比べ給料も高く人材を引きつけますか？

回答はどちらもNOです。

アジア諸国の高齢化への成長速度は想定外で、日本をしのぐ勢いです。政府による介護国際戦略にもかかわらず、フィリピン、インドネシアから勉強にきた介護人材は台湾へ流れつつあります。数年後には中国の高齢者人口は日本の総人口を上回り1億4千万人に達

します。日本では高齢者介護の人材が容易に育たず、利潤の乏しい介護現場から医療関係者も離反しかねません。

現実世界では、歴史の新しい鳴動が押し寄せています。金融経済界では、これまで日米中心で運用されてきたADB (Asia Development Bank) に対し、中国を主軸としたAIIB (Asia Infrastructure Investment Bank) が世界57か国を味方になりました。世界政治の中軸が変動する予兆であり歴史が転換しつつあります。この局面で日本も身の振り方を考え直しつつ、「クオリティの高い日常生活」をさらに深く追求することが望まれます。

## II 忍び寄る老年症候群と認知症

私たちの身体はゆっくりと、徐々に速度を

上げて「老化の階段」を駆け下ります。目がかすみ、耳が遠くなり、歯が傷み、皮膚の皺に戸惑いが募ります。避け得ない運命の摂理でしょうが、急いだときの不覚の転倒、緊張時の失禁など、「予期せぬとき、予期せぬところ」で、予期せぬ症状が出るのは何とも悔しいものです。自分の人生の「誰そ彼<sup>たかれ</sup>」を誰しもが自覚することになります。

この「黄昏どきの老年症候群 geriatric syndrome」は、腰・関節痛、肩こり、目のかすみ、難聴、せき・たんなど多彩です。同時にもの忘れが進み、それによる失敗が繰り返され、取り繕いが間に合わなくなってゆきます。誰もが同じ認知症プロセスに至るわけではございません。しかし、高齢者の4人に1人は自製の壁が外れ「恍惚の人」(有吉佐和子)のレベルに至ります。「認知症の周辺症状」(BPSD: Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) といわれる異常行動の発症です。このレベルで病院外来に見えますが、その時は最初の兆候から8〜9年経過しています。この遡る8年前が早期発見すべき時期で、その時こそ認知症予防を始めるべきだったのです。

高齢者は一般に罹患する病気が単一ではあ



●川並汪一氏（かわなみ・おういち）  
日本医科大学卒。同大学老人研究所所長、北京中医薬大学東方病院客員教授など歴任。新宿漢方クリニック院長。日本医科大学名誉教授。

りません。厚労省白書（平成22年）によると頻度の高い疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、狭心症、骨粗しょう症）ほど日常の生活振りが深く関与します。不摂生が積み重なる」と老年期に一拳に病気が露呈します。認知症の多くは生活習慣病が基盤となります。ですから認知症予防の基本は、今の生活（食生活やリクレーションの習慣）をチェックし修正することがスタートラインと心得るべきです。ところでこの厚労省白書には「認知症」という病名が見当たりません。それは「認知症」とは実は独立した単独の診断名ではないためです。たとえば高熱、腹痛、頭痛などと同じで、これらの背景にはインフルエンザ感染、胃腸炎、くも膜下出血など多彩な病気が存在

します。認知症とは、もの忘れとその続発症により生活に支障の出る症候群の一般名称です。その代表がアルツハイマー病で、次に脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症（ピック病）そして治る認知症などで構成されます。

### Ⅲ 認知症（症候群）をもたらず 四大疾患

#### 1 アルツハイマー型認知症

「はじめチョロチョロなかパツパ 赤子泣くとも蓋とるな」

アルツハイマー型認知症の症状は、ご飯を薪で炊くときの火加減パターンで進みます。最初はもの忘れがチョロチョロと気づかぬ

内に進みます。蓋を開けずに我慢している間にご飯がすっかり炊きあがるように、あるときハッと気づくと周辺症状がすっかり出来上がっているようなもので、後戻りは不可能です。

脳内には歳と共にアミロイドβとタウ蛋白という物質が多少とも出現しますが、神経組織に異常に沈着して神経細胞が変性し萎縮するとアルツハイマー病になります。アルツハイマー病は脳の20年にも及ぶ加齢に伴う変性

疾患といえます。神経細胞の異常はやがて脳全体に波及し脳がすっかり萎縮します。とくに記憶を統括する海馬の萎縮は比較的早くから明らかになります。以下に認知症の典型的な症例をご紹介します。（一部文科省委託事業・多職種連携教材より転載）

#### 【事例】もの忘れが進む79歳女性

70歳頃よりもの忘れが出てきた。75歳に実姉が他界したのを契機に、精神的に落ち込みが激しく老眼鏡を置いた場所も分からなくなった。昔話など同じ話を何度も繰り返すようになった。一方で、新しい出来事や約束を忘れ、そのことを問いただすと作り話をしてごまかすようになった。通常の顔つき動作などあまり大きな変化を感じなかった。しかし、外出先で出会った近所の友人を思い出せず、洋服を着ることもできなくなり、突然「自宅に帰ります」と旅行鞆を取り出し洋服を詰めるような

動作が出現した。78歳ころより食事をしたことを忘れ、料理をして



も鍋の空焚きをし、買い物に行くと同じものを大量に買ったたりするようになった（挿絵①）。最近では、道に迷い警察に保護されることもあり、失禁もしばしばみられるようになった。M M S E Ⅱ 14（満点30の認知能検査：mini-mental state examination, 24点未満で認知能低下を示す。）でH D S R Ⅱ 12（満点30の長谷川式簡易知能評価、24点が境界）と基本的日常生活動作（ADL:activities of daily living）の支障により介護が必要な中等度のアルツハイマー型認知症と診断された。初期もの忘れから約9年を経て来院したことになる。

## 2 脳血管性認知症

「知らぬ間にラクナ梗塞認知症」

長期の喫煙、飲酒など不摂生を伴う生活習慣からくる高血圧、糖尿病、心房細動、虚血性心疾患、肥満、脂質異常症はとくに血管性認知症のリスク因子です。脳血管障害（脳出血、脳梗塞）に罹患した患者さんは、後遺症として手足の運動障害や麻痺が表れ、呂律が回らず食事の呑み込みも悪くなります。いわゆる中気を起こした患者さんとはときにアルツハイマー病と同様な症状を現わします。一方、

頭部MRI検査で深部白質領域（皮質下）を中心に出現する虚血性変化ラクナ梗塞がみられます。この病変は日本人で一番多い脳梗塞タイプで、脳の深い部分の細動脈が詰まって出現しますが、症状を出さないので無症候性脳梗塞といえます。朝起きたら何の前触れもなく手足のしびれや言葉が出にくいことで気づくことが多いので隠れ梗塞ともいい、突然アルツハイマー型認知症様反応を示します。

血管性認知症は一般にアルツハイマー病よりも予後が悪く、卒中発作が重なるほど悪化が加速され、寝たきりとなります。麻痺による嚥下障害、尿失禁、便失禁などを認め、根本的な回復は難しく認知症発症から数年で亡くなる傾向があります。脳卒中発作の再発は、認知症の悪化を促進するので、ただちに生活習慣を改め必要な治療をすることが重要です。生活習慣病の予防は、アルツハイマー病、脳血管性認知症の発現を抑止するのに最も重要で不可欠の予防・治療法とみなせます。

【事例】高血圧で治療せずに過ごしてきた76

歳女性

20年来、高血圧を指摘されているが症状もないので未治療のまま過ごした。1年ほど前から徐々に口数が少なくなり、話の内容がと

んちんかんで会話が成り立たなくなった。最近になり家事をせず、庭でじつと座つてい



2

部屋への出入りを繰り返して、タンスを意味なく開け閉めする（挿絵②）など目的の無い行動が頻繁に認められた。洋服の着脱や入浴することもできなくなった。数日前に、庭で放尿しているのを近所の他人に目撃された。診察すると表情に乏しく、軽度の構音障害と四肢の筋の強張りを認めた。小刻みで引きずるような歩き方をした。M M S E Ⅱ 12点で、途中から検査の施行を拒否する様子も見られた。頭部MRI検査で前頭葉の深部白質領域（皮質下）を中心に多発性ラクナ梗塞を認めた。典型的な脳血管性認知症に相当する。

## 3 レビー小体型認知症

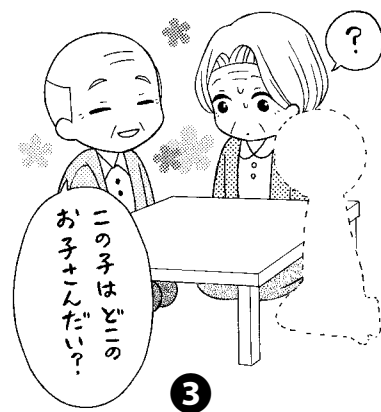
「幻視で始まり手足の震えのレビー小体」  
レビー小体型認知症は、日本の精神科医小

阪憲司（1976年）により見いだされ、今や世界的に有名な認知症に位置付けられています。レビー小体とはパーキンソン病で発見された脳幹部の病的封入体で、この疾患では大脳皮質全体にたくさん認められます。アルツハイマー型認知症と異なり、初期から記憶障害よりも、天井の壁に虫が這っている、子供が炬燵の向こうに座っているなどの幻視が出現するのが特徴です。パーキンソニズムという手足の震え、歩行障害、筋固縮などの障害と気分の変動（穏やかな状態から無気力、興奮、錯乱）を繰り返し人格が変わってしまう。この患者さんは薬剤に過敏で、気分や震えを落ち着かせる向精神薬、抗パーキンソン病薬は、運動症状や精神症状を増悪させるので調節が困難です。

**【事例】** 存在しない子供の姿が見える転びやすい75歳男性

妻と長男夫婦、孫2人と同居。公務員を定年退職後は仕事には就いていない。既往歴に特記すべきことはなく、常用薬はなくまた非喫煙者でアルコールは少々。もともと登山が趣味であったが、1年ほど前より歩く速度が遅くなり転びやすくなって最近自宅にいることが多くなった。時々ぼーっとして話が通

じなくなっていた。一方で話がかたまり、話が成立することも多いのでそのまま様子を見ていた。



「寝室のベッドの脇に知らない子供が座っている」という幻視（挿絵③）が出現して外来を受診した。初診時、この患者は口数が少なく表情の変化に乏しく仮面様顔貌で、四肢の筋肉が強張り動作は緩慢で、歩く姿は前屈姿勢で遅く小刻みであった。認知機能検査では、MMSE 19点と低下し頭部MRIでは、内側側頭葉の萎縮が軽度で脳血流SPECTで後頭葉皮質の血流低下を認めた。

レビー小体型認知症では歩行障害が病初期より出現し、幻視は繰り返されることが多く、体験中に本人も幻視であると分かっていることが多い。この疾患の進行はアルツハイマー病に比べて速く、発症後の平均生存期間は7年未満である。

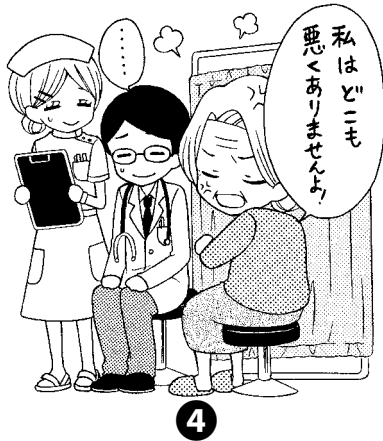
4 前頭側頭型認知症

「粗暴なふるまい落ち着かず人格障害ピック病」初期から粗暴、短絡的で相手の話は聞かずに異常行動（浪費、過食・異食、収集、窃盗徘徊、他人の家に勝手にあがる）と人格変化が著しい。アルツハイマー病でみられる中核症状（記憶障害・見当識障害など）は余りみられない。ピック病とも云われるこの前頭側頭型認知症は、ひねくれた態度が目立ち意味もなく同じ言葉を繰り返す、同じ行動を繰り返す滞続症状が特徴といえます。脳画像診断によれば前頭葉・側頭葉に局所性の萎縮や血流・代謝低下を認めます。治療法はなく落ち着きのなさ、多動、徘徊などに対し抗精神病薬を使うことがあり、ついには精神病院入院を余儀なくされます。高齢者施設ではこの反社会的な行動に対し、残念ながら拘束せざるを得ないこととなります。新聞紙上で虐待行為と云われかねない状況であり、殺人事件に発展することも今ではしばしばニュースになります。

**【事例】** 注意を聞かず落ち着かない75歳女性

夫と二人暮らし、55歳で右乳がんの手術を受け再発の所見なく70歳以降は通院を終了した。そのころから何となく落ち着きがなく

徐々に自発性が低下した。73歳頃より、毎日一人で勝手に外出し、近所の家に入り込むようになった。注意しても、適当な返事をするばかりで、悪びれた様子はなく、夫は深刻に悩むようになったが病気とは思えなかった。その後、とくに甘いものを好むように食事の嗜好が変化し量が増え体重が増加した。75歳時に、他人の畑から勝手に野菜を持って帰り警察に通報された。「自分はどこも悪くない」と夫には不機嫌な態度を示し、診察にも非協力的で（挿絵④）、質問に対してまじめに答えようとせず、すぐに立ち上がって診察室から出て行くこうとする様子が頻繁に見受けられた。デイサービスやショートステイの準備もしたが本人が完全拒否でうまく機能しない。夫の忍耐も限界に達し要介護Ⅲが認定され施設入所。患者は毎日同じ行動パターンをとる



④

習性があるので、それを応用しルーティン化できると、ケアもある程度可能となる。精神科病院とも連携を図りながら、各業種の担当者との協議しつつ適切な方法を探っていく必要がある。認知機能検査はMMSE 22、HDR-SIR 19であった。

#### IV 精神科の医療現場から一言

##### 1 暴力的な認知症患者さんへの対応

認知症患者さんは、手に触れたり近づいたりして親しい関係を築くことで信頼感が生まれます。この初期対応はとくに鍼治療に際しては絶対不可欠のプロセスです。しかし興奮し暴力的周辺症状を示すような患者さんには逆に、言葉でアプローチすることが必要です。

(1) 危険物を取り除く。ネームプレートやネクタイをはずし、胸ポケットのペンやはさみなどを出しておく。

(2) 殴られ、蹴られるのを防ぐため腕二本分の距離をあける。手を添えると攻撃と勘違いされ興奮がひどくなるのでタッチングをしない。

(3) 武器を隠し持っていると言われれば、それがあつたので両手は相手に見えるようにしておく。

うにしておき、凝視することは避け大それたときだけ相手をみる。

(4) 笑顔は嘲笑され馬鹿にされていると思われる可能性がある。腕組みもしない。  
 (5) ゆっくりと声のトーンを下げて相手に理解できるように話す。

(6) 発言を批判するようなことは避け、「：と言っておられますが、それでよろしいですか？」のように相手の言葉を繰り返す。

2 高度の周辺症状に誰がどう対処するか  
 これだけ気をつけるだけでも、興奮はしずまることが多い。

厚生労働省は認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続ける社会の実現を目指しているようです（認知症施策検討プロジェクトチーム認知症施策の方向性 平成24年6月18日）。徘徊など周辺症状への対応に関し神経内科では、「背景に不安があるから、話をゆっくり聞いて」「本人に寄り添って」などが勧められている。精神科の現場では、重度の認知症で会話は成立せず、寄り添えば暴力につながる言が日常茶飯事で大きな問題です。精神科病院では厳格に規定された法律の下



で、1日に数度の診察とアセスメントを行ない、法律を遵守しながら鎮静薬投与、拘束、隔離などを適切に行い対応しているのが現状です。しかし、一般病院や施設では拘束や隔離に対して法律の規制がありません。周辺症状や譫妄が重度になった場合、在宅あるいは老人保健施設での管理は不可能で、家族も患者も共倒れになります。昨今、精神科病院への入院治療に批判的な意見が多いが、認知症医療においても精神科の存在は大切な資源であることも理解すべきでしょう。

### V 認知症予防と治療 (三焦鍼法)

Gold-PPD Sanjiao Acupuncture

一般社団法人老人病研究会は2009年に第2回認知症国際フォーラムを開催しました。その演題「東洋医学が認知症に挑む」は大きな話題を呼びNHKエデュケーショナルでTV放映されました。そのときのゲスト韓景猷教授と一緒に当法人は認知症Gold-PPD育成講座を開講しました。

Gold-PPD Sanjiao Acupuncture  
は認知症対策に高い効果

Gold-PPD 鍼灸師の体験した症例報告 (2011~2014の論文) によれば、  
(a) 初回の鍼施術は13%の患者さんが躊躇するか拒否した。しかしじっくり話し合い打ち解けると2回目には刺激をほぼ受け入れ、その後は喜んで待つようになった。  
(b) 三焦鍼法を4~5回(週1回)続ける間に、多くの患者さんの気分はスッキリし、次第に落ち着きを示した。8回目の刺激を過ぎると対話が出来るようになり、家族や介護士さんを認識し、感謝の意を示すようになった。

(c) 長期施術(最長160回以上)で、認知症テスト(MMSE)の低下は抑制され、認知症の周辺症状(BPSD)が改善するためQOLが著しく高められた。家族と介護士の負担が軽減するため、Gold-PPD 鍼灸師は関係者にも喜ばれる良い影響を与えた。

### VI 結語

認知症は決して他人ごとではありません。家族のためひいては自分のために必要な認知

症の概要をご紹介しました。そして、西洋医学も見方を変えようと、その最先端の治療法とはいえ決して万全ではなく試行錯誤が始まったばかりであることをご理解頂きました。

一方、3000年前から継続している東洋医学(中医学)は膨大な体験結果から導かれた治療法です。Gold-PPD 育成講座でご紹介したSanjiao Acupuncture(三焦鍼法)は、患者さんへの初回の施術が難しいものの副作用の無い効果の確かな治療法です。老年症候群と認知症に対し適切な手段といえます。

認知症専用の漢方処方はありません。漢方薬は西洋薬と異なり診断名ではなく、症状と体質に対応した処方をします。その代り五臓六腑の血流を良くし活力をもたらし、全身バランスと免疫力を付ける効果があります。現在認知症の方におすすめている漢方は、抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、黄地散などです。また、初期の患者さんには多少高価ですが、冬虫夏草や牛黄などです。これらは担瘤患者さんのQOL向上にもお勧めしています。

●詳細については、協会ホームページをご参照ください。

# ふれあいトークサロン

第二十一回 平成二十七年一月十六日(金) (参加者四十名)

■税理士法人スバル合同会計ビル 四階において開催■

第二十二回 平成二十七年五月八日(金) (参加者二十六名)

■税理士法人スバル合同会計ビル 四階において開催■

## 〈第二十一回〉

### 太田道灌十八代子孫が目指す 江戸城天守再建のロマン

太田 資暁



2020年東京オリピック開催が決まりました。この記念すべき時に備えて江戸の成り立ちと天守閣再建のお話しをさせていただきます。

徳川家康が江戸に幕

府を開いたのは1603年ですが、1606年から明暦の大火が起こる1657年までの約50年間江戸城には五層の天守閣が聳えておりました。これは我が国最大の天守閣なのですが、その後幕府は財政難のため再建をして

おりません。今でも石垣だけが皇居東御苑の片隅にひっそりと佇んでおります。私たちはそこに元の天守閣を建てようとNPOを作って運動をしております。では江戸城再建の話の前に、まず江戸の成り立ちからご説明しましょう。

#### 一、江戸の成り立ち

今の若い人は太田道灌は徳川家康の家来だと思っっている人がおります。実は道灌は家康よりも150年も前の1450年代に活躍した武将です。三十数度戦って一度も負けたことの無い戦の名人であり、和歌の名人であったことから江戸時代には「文武両道の鏡」と

言われて江戸市民から大変愛されました。道灌の時代の江戸はどのような状態かと言うと、葦と萩が生い茂り、少々家並みはありましたがほぼ荒野であったと思われれます。そこに道灌は何故城を築いたのか、その軍事的政治的背景をご説明します。当時足利幕府の優先機関であった関東公方は京都と対立し、「享徳の乱」によって鎌倉は灰になり、政権が分裂して古河公方と堀越公方に分かれておりました。同じ足利同氏の争いなのですが両者は利根川、荒川を挟んで壮烈な領土争いをしておりました。堀越公方は実質的には無力でしたから補佐をしていた関東管領である上杉氏が京都と結んで関東の左側半分を治めていたこととなります。上杉氏も時代を経るに従って鎌倉の住む場所によって枝分かれし、関東管領は山内上杉家、相模の守護は扇谷上杉家となりました。(山内も扇谷も現存する鎌倉の地名です。)そして扇谷上杉家の家老が太田家ですから、太田家は身分的にはそれほど高くないこととなります。

古河公方の存在に頭を痛めた京都の幕府は古河に対する前線基地として城を造るようにな上杉家に指令を出します。1457年上杉持朝の命により太田道真、道灌父子は城を築き

ます。父道真は河越と岩槻に築城し、道灌は江戸に築城します。特に江戸は隅田川を挟んで古河方の千葉氏に対する城で重要な使命がありました。道灌は城に相応しい場所を求めてあちこち物色して歩きます。赤羽、湯島、江戸、品川、川崎等候補地を探しますが、最終的には江戸に決めました。江戸はそれまでは桓武平氏の流れをくむ江戸氏が押さえておりましたが、道灌の頃には衰退し館があった程度と言われております。当時の江戸は日比谷の入り江が今のパレスホテルの辺りまで入り込んでおり、後ろは神田の山で東は平河が



太田資暁氏

### ●太田資暁

(おおた・すけあき)  
太田道灌18代目子孫  
1943年生まれ。1965年、早稲田大学商学部卒業。東京海上専務を経て、2000年より東京海上日動あんしん生命社長。現在、認定NPO法人江戸城再建を目指す会会長、太田道灌公墓前祭実行委員会会長。

流れ西は溜池と言われるように沼地で、しかもよく泉が湧き、城を築くには理想的な土地だったようです。今でも東御苑を歩けばその高低差が分かりますし、天守台に残っている井戸は今まで枯れたことはありません。道灌は村の名前が、千代田、宝田、祝田村と聞いて「誠に吉兆な名前ばかりである。この城の繁栄疑い無し」と言ったと伝えられております。事実この城は戦禍によって落城したことのない誠に運の強い城です。道灌が川崎で城を造る夢を見たということで「夢見が崎」と言う地名がありますが、もしそこに城を築いたら今の皇居は川崎になっていたかも知れません。築城当時道灌は25歳でしたから、河越にいた父道真が技術者や大工を派遣してかなり援助したようです。神社仏閣なども河越から勧請かんじょうしました。江戸時代、川越藩は幕府に遠慮して「小江戸川越」と言っておりませんが、本当は「江戸の母川越」が正しいのです。さて、道灌は戦では連戦連勝で、その働きにより扇谷上杉家は管領である山内上杉家を圧するほどまでに勢力を拡大させます。また道灌の名声はいやが上にも上がり、京都から応仁の乱を逃れて有名な文人や高僧が江戸城の道灌の元にやってきました。如ましく思ったのは上

司である扇谷上杉定正さだまさであり、その上の関東管領山内上杉顕定あきさだでした。顕定は定正に「道灌がお目の首を狙っているぞ」と讒言ざんげんします。それを軽々に信じた定正は神奈川の伊勢原にある自分の館の新築祝いに道灌を江戸から呼び、宴会の前に道灌が風呂に入っているところを殺してしまいます。道灌は死ぬ時に「当方滅亡」と言っていますが、当方とは上杉家のことです。その言葉通り1年も経たないうちに両者は戦端を開き20年に亘る「長享の乱」が勃発し、関東は泥沼の戦国時代に入って行くのです。私は2020年にNHK大河ドラマに道灌をとり上げてもらいたいと言う運動を始めましたのでそちらもご注目ください。

## 二、江戸城再建

さて、道灌が江戸城を築城してからちょうど200年後の1657年（明暦3年）に江戸では神田の「振袖火事」が起こり、江戸の町の3分の2が焼け、江戸城天守閣も燃えてしまいます。幕府はすぐに天守閣を再建するべく、加賀藩に命じて石垣の組み直しを命じます。その後財政が続かず、四代将軍のご意見番である保科正之ほしなまさゆきが「今はその時にあらず」と言って工事を中止させます。その後1712年に新井白石たちが何とか天守閣を

再建しようと運動し、完成図まで作成するのですが、この時も幕府の財政が続かず再建を断念します。その後現在に至るまで天守閣は再建されておりません。

我々は徳川家の大工の棟梁である甲良家こうらに残された設計図である建地割図たてぢわりずを頼りに再建する運動を始めました。家康、秀忠、家光と三代に亘る将軍が其々に天守閣を造っておりますので、我々は寛永年間の家光の時代の天守閣を再建しようとしております。この運動は元々建っていた天守閣を元通りその場所に木造で建築して、後世の人々の為に日本の宝として残し、日本の国民に誇りを持ってもらうことが目的です。2020年東京オリンピック開催で俄然追い風が吹いて来ましたが、昨年11月4日には参議院予算委員会に於いて松沢成文議員が安倍総理大臣と下村文部科学大臣に質問をしております。当然両者とも慎重な答弁で、賛成とも反対とも述べておりませんが、安倍総理は自分の地元にも萩城再建の動きがあるとして幾分賛同の趣の発言をされておりました。そして強調されたのはこの土地が皇室の土地であるだけに、皇室のプライバシーと環境の静謐を守るべきであると言うことでした。このことは我々も運動を進め

るうえで最大の注意をもって進めなければならぬと思っております。その為には城の見学に来る人達の動線を制限し、吹上御所方面の天守閣の窓を閉めておくことも必要でしょう。そして見学者は東御苑の崇高な静けさを実感することによって皇室に対する尊崇の念に思いを巡らせ、日本の歴史と文化に改めて理解を深めてもらえればと思います。そして現在全国の各都市で城の再建を計画しているところが20数か所ありますので、それらとネットワークを結び、中心を江戸城に置きながら運動を盛り上げて行きたいと思っております。建地割図と同じように再建すると、この城は平地から最上階の屋根の上まで59mあり(18階建のマンションに相当)容積も姫路城の3倍あり、建築費は350億円かかるの見積もりです。シミュレーション写真で再現してみましたが、周りの緑によく映えて誠に美しい天守閣です。

一昨年我々の運動が世間に支持されるかどうかについて専門家に調査してもらいました。日本都市計画学会の重鎮である伊藤滋先生は東京を計画的に改造しないと世界の都市間競争に置いて行かれるとの危惧を示され、それには日本橋に空を取り戻し、東京駅と江

戸城のトライアングルを構築し、東京の核を造ることが必要だと主張されました。また、経済面については日本経済研究所に委託してシミュレーションを行っていただきましたが、建築費が350億円かかるにしても、入場料を取るのであれば、十分維持は可能との結論をいただきました。このように各界の専門家のご意見をいただき我々は大いに勇気づけられました。

ところで、話は海外に飛びますがドイツではベルリン王宮が再建されつつあります。1701年にプロイセン国王によって造られた王宮は第二次世界大戦で英空軍の爆撃により破壊されてしまいました。その再建運動がNPOから始まり、一昨年ドイツの国会で再建決議がなされ、国の予算で700億円かけて今年から着工が始まりました。我々はドイツのNPOと連携しながら運動を進めておりますが、東京も負けてはいられません。何としても五層の天守閣の雄姿をこの目で見たいものです。これからも皆様のご支援を賜りたく思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

●詳細については、当協会ホームページをご参照ください。

## 〈第二十二回〉

# 最近の中国金融経済情勢と金融制度改革

日本銀行国際局 岡寄 久実子

### 【中国との関わりⅡ自己紹介を兼ねて】

まず私と中国との関わりについて自己紹介を兼ねながらお話ししたいと思います。

私は元々外国語に興味がありました。高校3年生の時、1978年夏に日中平和友好条約が調印されました。その締結交渉の中で「お互い覇権を求めない」という条項を巡って交渉が難航しているというニュースを聞きまし

た。お互いに「覇権」という同じ言葉を使いながらその意味は日中間では違うということについて、高校生なりに疑問を抱き、中国語を専攻しようと決心し、東京外国語大学に進学しました。4年生の時に「北京語言学院」に交換留学生として一年間学ぶ機会をあたえられ有意義な留学体験をしました。帰国後、

日本銀行が中国語のできる学生を採用するという話があつて、それに応募し日本銀行に入行いたしました。当時の中国は文化大革命から改革開放への大きな転換を進めている最中で、銀行制度に関しても中国人民銀行がすべ

ての銀行業務を行う体制を変えようとしており、1983年9月に「中国人民銀行が専門的に中央銀行機能を果たすことに関する決定」を公布しました。こうした変化に応じて、

日本銀行も中国語対応体制を少し強化しようと考えたようです。

### 【改革・開放への転換】

1992年の鄧小平氏による「南巡講話」をきっかけに、中国は一気に改革開放に突き進んで行きました。翌1993年にはその影響で経済がかなり加熱してしまいました。私はその年、香港中文大学に留学し、香港から中国情勢をみていました。この一年は、チャイナウォッチャーを目指していた私にとって、貴重な経験を積むことができた年でした。香港は当時も今も、大陸情報を得るうえで大切な拠点だと思います。

当時の物価急騰を沈静化させる対策の陣頭指揮を執ったのは朱鎔基副総理でした。

1993年、中国は「社会主義市場経済」の確立を掲げました。ごく簡単に言えば、経済を豊かにするためにマーケット・メカニズムを導入することです。この方針の下で、金融面では1995年に「中国人民銀行法」「中国商業銀行法」が相次ぎ公布され、金融市場の整備も進められました。このまま行けば2000年頃には金融の自由化に踏み出せるのではないかとという話も出始めた頃、1997年にアジア通貨危機が発生し、自由化の流れは一旦止まってしまいました。

元々中国は為替管理が非常に厳しかったのでアジア通貨危機の直接的な影響は軽微でしたが、それでも当局は周りの状況から市場経済を進める上で金融の安定こそが一番大切だと認識し、ここでもう一度金融体制をしつかり立て直そうという考えに至りました。

### 【WTO加盟】

香港から帰国後、2001年3月から外務省経済局に向向しました。その年の12月に中国はWTO（世界貿易機関）に加盟しました。中国の加盟に際しては、同国が加盟約束を守っているかどうかを5年間チェックする「経過的審査メカニズム」という制度が作ら

れたのですが、私はその審査プロセスに関わる仕事も担当しました。その後2003年から、中国は国有商業銀行の抜本的改革や農村金融制度の改革に乗り出しましたが、私は結果から見てこの改革は大成功であったと考えております。この実績を踏まえて、中国の金融制度改革は次の局面に進もうとしています。2011年から昨年9月までの3年間、私は中国人民銀行上海総部に滞在させていただききました。

中国人民銀行の本部は北京にあるのですが、金融市場の中心である上海における同行の機能を強化するために、2005年に本店と同格の上海総部が設置されました。上海滞在中は、上海自由貿易区創設の動きなどを間近で感じることもできました。

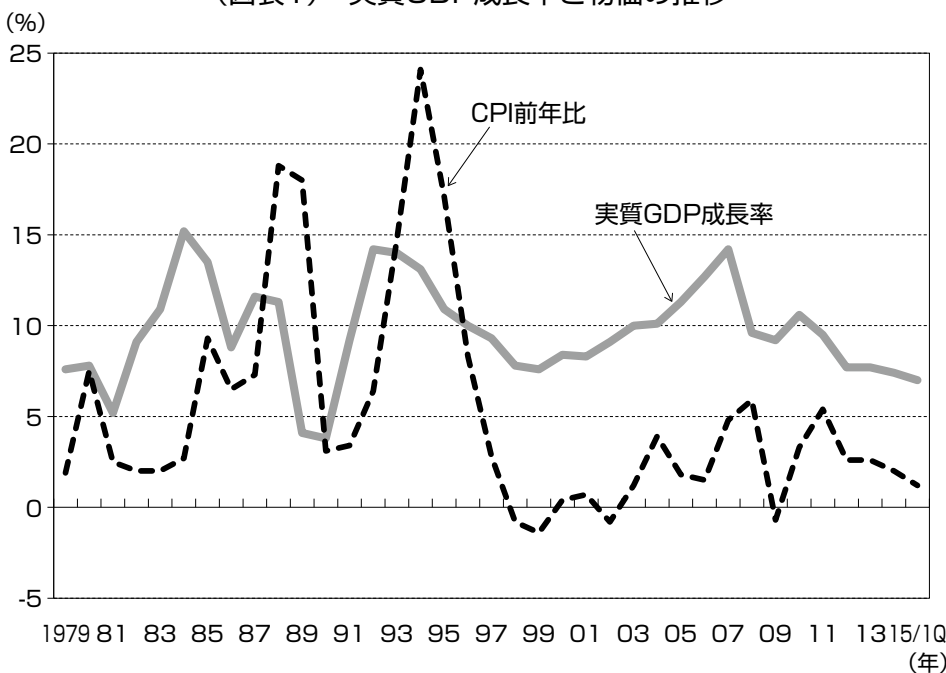
### 【マクロ経済情勢の変化】

以上、1980年代からの中国金融市場の発展状況を振り返って来ましたが、ここでマクロ経済情勢の変化について触れたいと思います。まず消費者物価指数ですが、80年代後半は不安定であったものの、その後は概ね安定した推移となっています。(図表1 12頁参照) 経済成長については、実質GDP

P成長率は10%を超える伸びを続けてきましたが、最近鈍化してきています。(図表2 13頁参照) しかしこれをどう捉えるかは非常に難しいことだと思えます。そもそも中国は、2001年から2010年までの間は、年率10・5%の成長を遂げていたのですが、それだけ高い伸びを続けていけばいろいろな所で歪みが出るのは当然です。ですからもう少し成長が鈍化した方がよいという声が主流となっていました。それが実際に減速し始めるとやはり心配する声が上がってしまうのです。最大の不安要因は不動産価格の低迷と言われることが多いようです。昨年後半から殆どの都市で対前月比下落が続いています。ただこれも、その前にかんがりの値上がりが続いていたので、必要な調整が行われようとしているとみるべきなのかもしれません。前月比で下落が続いているとはいえ、住宅価格が依然として高い水準にあることに変わりはありません。ただし家が売れないと家具や消費財の売り上げが減るなど、景気後退に繋がりがやすいことは間違

いありません。それからマネーサプライ(通貨の流通量) に関してですが、ちょっと鈍化していますが、対GDP比率でみるとさほど弱い数字ではないように思われます。昨年の伸びは政府目標を下回りましたが、お金が回っていないというようなことはない、と中国

(図表1) 実質GDP成長率と物価の推移



(出所) 中国国家統計局

人民銀行はみているのではないでしょう。少し話は逸れますが、現在、中国の金融業における重要な課題は、国民の手元にある余剰資金をいかに効果的・効率的に中小企業や農業等に回していくかということにあると思います。

【中国株式】

次に中国株式です。2008年のリーマン



岡崎久実子氏

●岡崎久実子  
(おかざき・くみこ)

1984年東京外国語大学卒、同年4月日本銀行入行。外国局、香港事務所次長等を経て2001年外務省経済局。2003年日本銀行国際局調査役、2007年日本銀行金融研究所企画役、2011年10月中国人民銀行上海総部に滞在、中国の金融経済制度等に関する調査研究に従事。2014年9月国際局企画役

ショックによって他国同様大幅な下落をするのですが、直後に4兆元の刺激策を打って他国より早く株価を回復させました。ところがその後株価は低調な推移を辿ってきました。それは何故かという点、中国政府の大きな方針として国有株を民間に売っていく、また企業の上場を促すという動きもあって、株式市場は常に供給過剰を懸念する状態が続いていたからです。ところが昨年、金融緩和のための利下げを行った途端に、株価が一気に上昇し始めました。一つには、不動産市況が良くないのでマネーが株に流入してきたのではないかと推察されています。未だ中国では投資対象が限られているので、どうしても「不動産か株」ということになってしま

【為替レート】

人民元に関してですが、中国は1994年に為替の市場レートと公定レートを一本化しました。そしてアジア通貨危機後、人為的に

(図表2) 主要経済指標の推移

(前年比%、億米ドル<貿易収支>)

	2012年	2013年	2014年	2014/3Q	4Q	2015/1Q
GDP・実質	7.7	7.7	7.4	7.3	7.3	7
工業生産(規模以上企業)・実質	10	9.7	8.3	8	7.6	6.4
固定資産投資・名目	20.3	19.1	15.7	14.4	14.7	13.5
消費財小売売上総額・名目	14.3	13.1	12	11.9	11.7	10.6
輸出・米ドルベース・名目	7.9	7.8	6.1	13	8.6	4.7
輸入・米ドルベース・名目	4.3	7.2	0.5	1.1	▲3.3	▲17.6
貿易収支	2,303	2,590	3,825	1,281	1,495	1,237
CPI	2.6	2.6	2	2	1.5	1.2
PPI	▲1.7	▲1.9	▲1.9	▲1.3	▲2.7	▲4.6
都市住民一人当たり可処分所得・実質	9.6	7	6.8	--	--	7
農村住民一人当たり純収入・実質	10.7	9.3	9.2	--	--	8.9

(注) 表中の▲印はマイナスを示す。  
(出所) 中国国家統計局、海関総署

8・28元/米ドルというレートを維持してきました。2005年に為替レートを市場の需給に応じて変動させることにしたのですが、実際には当局のコントロールが強い局面が多く、特にリーマンショック後の2年程の間は、為替レートはあまり動きませんでした。

## 【新常态】

次に、これからの中国はようになってゆくのかについて触れたいと思います。政府は今後の社会・経済の発展において「新常态」という新しい局面を迎えなければならぬ、としています。かつて世界の工場と言われ低賃金による大量生産で高い成長率を誇った時代は終わった、モノ不足は過去のものとなり伝統的な産業の供給能力は過剰となった。新たなビジネスモデルへの投資機会が増え、多様化した消費モデルが主流となっていくであろう。人的資本の質と技術的進歩がカギとなる。これまでのような高い成長率を求めるのではなく、経済構造をレベルアップさせ未来の産業発展の方向性を模索して行こう、というものです。

中国では経済以外にも、都市と農村の戸籍問題など、課題も山積みですが、隣国の新しい発展をみつめていきたいと思っています。

## 【中国（上海）自由貿易試験区の動向】

ここで上海自由貿易試験区についてご説明したいと思います。上海市政府関係者等は2005年以来、中央政府に対し、従来の保税区をさらに大々的な自由貿易の拠点にしよ

うと提案していましたが、2013年春の李克強総理の上海視察を機に、構想が具体的に動き始めました。

中央政府の狙いは、更なる改革・開放政策の実験を行うこと、また自由貿易構想（TPP等）へのキャッチ・アップを図ることであり、一方上海市には、2020年までに上海に国際経済、国際金融、国際航空、国際貿易の4つのセンターを建設するという目標や、上海の産業高度化を図るという目標の達成に、自由貿易区を活用したいという狙いがあります。この試験区の主な目標は、投資や貿易に関する煩雑な許認可手続きを簡素化し、規制を緩和する、さらに金融業の一段の開放とサービスの高度化を加速することなどにあります。金融面の具体的方策については中国人民銀行が意見を出していて、自由貿易口座、いわゆるオフ・ショア口座の開設を認め、そこを通じて、より自由な資金移動が行われるようにするとしています。

上海自由貿易試験区には、金融自由化全体との整合性や国の計画の中で上海市の位置づけをどう考えるかなど、いくつかの課題も残されています。

## 【一帯一路】

最後に、中国の外貨準備高に触れておきたいと思います。過去における海外からの直接投資や貿易の拡大により、2014年末で中国の外貨保有残高は3兆8000億ドルをこえており、日本の1兆2000億ドルの3倍強になっています。中国政府は、この膨大な外貨準備を一帯一路構想に役立てようとしているようです。一帯一路構想の一帯とは、西安からモスクワを経て欧州に至るシルクロード経済ベルトであり、一路とは南シナ海からインド洋、アラビア海を経て地中海に至る海上シルクロード構想です。このような大規模なインフラ整備のためには莫大な資金が必要であり、中国政府は外貨準備を活用することも考えているようで、今後の展開が注目されています。

以上で私からのご説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。

（抄録 山田雅彦）

※本講演の発言及び席上配布資料は、演者個人の見解であり、必ずしも演者が所属する組織の見解を代表するものではありません。

●詳細については、当協会ホームページをご参照ください。



# 社員総会報告

## 創立三十周年の取り組みと成果

—平成二十七年定時社員総会—

事務局

平成二十七年定時社員総会は、六月十二日築地コンワビル第一会議室において開催。

平成二十六年度事業報告と平成二十七年事業計画及び収支予算について報告が行われた

ほか、平成二十六年度収支決算が審議され可決されました。

平成二十六年度は創立三十周年を迎えたため、

① 記念講演会の開催

② 機関誌「マチュリテイ」記念号発行

③ 大規模なチャリティコンサートの実施

を記念事業の三本柱とし、組織を挙げて取り組みました。

平成二十六年度決算は約百三十万円の黒字となりました。これには「私の大切な覚書き」の頒布五万六千部、法人・個人からの寄付金約百五十四万円が大きく寄与しております。

平成二十七年度は、収支均衡の予算を組んでおります。

## 一 平成二十六年度事業報告

### 公益目的事業——高齢者の社会参加支援

#### I. 社会参加支援事業（定款四条一項一号）

##### ① 社会貢献事業

イ 第十一回チャリティコンサートを開催。

創立三十周年記念事業の一環として前年より規模を拡大し、特別養護老人ホーム等の入居者約三百名をご招待した。

ロ 首都圏の福祉施設二か所へバザー用品を献品したほか、協会行事の際に施設入居者作品の販売を行った。

ハ 生活情報誌「Rプラン」及び「私の大切な覚書き」の頒布収入の1%に会員からの浄財を加え、二十万円を『桃・柿育英会』に寄付した。

また八月に発生した広島市土砂災害について、会員から義援金を募り関東地区分として五万円、広島地区分として約四十万円を中国新聞社会事業団に寄託し

た。

ニ 広島で留学生との交流会を二回実施。留学生延べ六十名が参加した。この活動の担い手である「留学生との交流会」が内閣府の平成二十六年度社会参加活動事例として表彰され、中国新聞に関連記事が掲載された。

ホ 世田谷区下北沢で、毎月一回認知症予防事業「きたざわサロン」を実施した。

ヘ 四月に杉並区西荻窪で世代間交流事業「シニアサロン杉並」が発足。以後毎月開催した。本事業については西武信用金庫「街づくり助成金」の支援を受けた。

ト ペットボトルキャップ回収を継続実施。本年度は約百八十六キログラムに達した。なお、当協会のキャップ送付先から「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付が実行されている事を確認した。

##### ② 就業支援事業

就業希望者は株式会社高齢社に申込み制度を設けているが、本年度の就業実績は無かった。

##### ③ 生活情報提供事業

イ 生活情報誌「Rプラン」を、地方銀行を通じて四万五千人に配布した。

ロ エンディングノート「私の大切な覚書  
き」五万六千部を頒布した。

#### ④ イベント事業ほか

イ 関東二十八（地域会四を含む）、広島  
二十七の同好会・地域会が活発に活動し、  
年間延べ一万人以上が参加した。

ロ 広島支部では二木会（毎月開催）をは  
じめ、新入会員の集い、新年懇親会を開  
催した。

ハ 関東地区では「はつらつふれあいの集  
い」を開催。約百三十名が参加した。

#### 2 対外事業（定款四条一項二号）

高齢社会NGO連携協議会（高連協）が行っ  
た「高齢者の社会参画に関する調査」に協力  
した。また内閣府主催、高連協協力の「高齢  
社会フォーラム」に参加した。

#### 3 研修・講座事業（定款四条一項三号）

イ 十一月七日に公益財団法人さわやか福  
祉財団会長の堀田力氏を講師に迎え、創  
立三十周年記念講演会「超高齢社会と  
我々の生き方」を開催した。

ロ 講演と交流の場「ふれあいトークサロ  
ン」を四回開催。延べ百三十五名が参加  
した。

ハ 損保マチュリティ講演会は日本文学者

渡辺憲司氏を講師に開催。百三十名が参  
加した。

#### 4 広報事業（定款四条一項四号）

機関誌マチュリティを七月と一月に発行し  
た。一月発行の第百号は創立三十周年記念特  
集号として、三十年の歩みを回顧すると共に、  
今後の協会活動の在り方について展望した。

二月にホームページをリニューアルした結  
果、アクセス数が大きく増加した。

#### II. 収益事業（定款四条一項六号）

「福利厚生施設のアウトソーシング事業」  
に協力、財政面で成果を挙げている。

#### III. その他事業（定款四条一項六号）

「マチュリティニュース」「ヒロシママチュ  
リティ」を関東・広島各六回発行した。

#### IV. 当面の課題…運営基盤の強化

1 法人会員…入会二社、退会一社のほか  
会員二社が合併して一社となった関係で  
会員数は前年度末と同じ二十八社となっ  
ている。

2 個人会員…会員増強に努めたが、会員  
数は微増にとどまった。

関東 一〇七一名（含家族会員四三三名）  
広島 七〇七名（含家族会員二四〇名）

## 二 平成二十七年事業計画

### 公益目的事業――高齢者の社会参加支援

#### I 社会参加支援事業（定款四条一項一号）

##### ① 社会貢献事業

イ チャリティコンサート及びバザーの開  
催、認知症予防事業、世代間交流事業、  
留学生との交流、ボランティア派遣など  
を継続実施する。広島支部においてはエ  
リザベト音楽大学との共催によるチャリ  
ティコンサートを新たに実施する。

ロ 「Rプラン」「私の大切な覚書き」の頒  
布実績の1%に会員その他の浄財を加え  
て東日本大震災遺児奨学金等に寄付する。

ハ 地域活動として広島支部及び神奈川  
会・埼玉会・西東京会・京葉会の活動を  
積極的に進める。

##### ② 就業支援事業

引続き地道な活動を継続する。

##### ③ 生活情報提供事業

イ 年金受給者を対象に、Rプラン生活情  
報誌の普及を図る。

ロ エンディングノート「私の大切な覚書  
き」頒布事業を継続して推進する。

ハ 高齢者住宅の現状、相続と遺言、成年

後見制度などについて説明会の開催や各種資料配布による情報提供を行う。

④ イベント事業

関東・広島両地区でイベント事業の一層の活発化に取組む。

2 渉外事業（定款四条一項二号）

高齢社会NGO連携協議会（高連協）および高連協加入の各団体と連携して、当協会の事業目的にかなった活動に取り組む。

3 講演会事業（定款四条一項三号）

「ふれあいトークサロン」「損保マチュリティ講演会」等を開催する。

4 広報事業（定款四条一項四号）

機関誌「マチュリティ」を年二回発行する。ホームページでの情報提供をタイムリーに行う。

II. 収益事業（定款四条一項六号）

「福利厚生施設のアウトソーシング」事業などに協力する。

III. その他事業（定款四条一項六号）

「マチュリティニュース」「ヒロシママチュリティ」を隔月に発行するとともに、その内容をホームページに掲載しPRに努める。

IV. 当面の課題…運営基盤の強化

1. 法人会員対策

新規法人会員の加入の促進と法人会員との連携を密にし、一層の支援を得る。

2. 個人会員対策

同好会・地域会活動の活発化、ホームページの充実を図り個人会員増強に取組む。

3. 財務基盤強化

イ、当協会の公益活動を広く訴求し、各界各層の理解を得て寄付金を募る。  
ロ、エンディングノート「私の大切な覚書き」の頒布活動を強化する。

4. 地域会組織の充実

地域会組織を強化し、地域に密着した活動を充実させる。

平成26年度収支決算と平成27年度予算

(千円)

	26年度 決算	27年度 予算
収益の部		
法人会費	3,810	4,100
個人会費	3,215	3,300
会員負担金	3,199	3,060
Rプラン	3,985	3,800
私の大切な覚書き	10,780	7,000
チャリティコンサート	873	900
コンサルティング	3,839	3,800
受取寄付金	1,542	800
その他	878	327
合計	32,121	27,087
費用の部		
人件費	5,073	4,670
旅費交通費	2,081	1,972
通信運搬費	1,333	1,011
会議会合費	4,379	3,550
印刷製本費	6,925	4,968
賃借料	4,231	4,105
委託費	2,227	2,000
その他	4,560	4,811
合計	30,809	27,087
当期経常増減	1,312	0

(補足)

- 26年度決算はエンディングノート「私の大切な覚書き」の大口頒布と法人・個人からの寄付金等により1,312千円の経常増（黒字決算）となりました。
- Rプランとは地方銀行と提携し、主として年金受給者に配布する情報提供誌です。
- コンサルティング事業は「福利厚生施設のアウトソーシング」に協力して得た収益です。

# 皆様に支えられている社会貢献

社会貢献活動委員会 委員長 山鹿 素雄

「きたざわサロン」の行事の中で、第一回からずっと続いている行事があります。これは木版画、水墨画等の同好会の皆様や会員の中

の有志の方々が寄付された絵が書かれたカードをお祝いに提供する誕生会です。当月の誕生日の人々は、皆の前に出て来て、白い手袋をして「くす玉」を引き、「誕生日おめでとう」の垂幕の下がついている中で、会場全員でハッピーバースデーを歌った後、皆様方から頂いたカードの中から好きな物を一枚取って持ち帰る行事です。又来年も元気でカードを貰おうと励みにもなっています。

この様に、表には出ない応援者の力もあって「きたざわサロン」も6年目を迎える事が出来ました。本当に有り難うございます。

又、広島支部での「留学生との交流会」が平成26年度の社会参加活動事例として内閣府から表彰されました。この案件の推薦の主な理由は、広島支部の中で

1 社会の役立つことを行う

2 勉学の志を抱いて来日した留学生の目的達成の為に精神的な支援を行う

3 留学生交流の場として交流会を開催し、交流を通じ、相互理解を深める

この目的に賛同する会員に呼びかけ、広島支部スタート間もない平成5年3月に第一回交流会を開催して以来、20年間に交流会は54回を重ねてきました。この永年の努力と実績が認められ、受章したものです。年に二回の交流会に加え、定期的に食事会や卓球大会を開催しており、会費を負担する支部会員の確保と留学生の参加勧誘と確保に悩みながら続けて来ました。この様に、社会に役立つ事をしようという気持で創立の頃から活動を続けている人達が広島にも沢山おられます。

いつも秋に予定している「虹の子作業所」のバザーが、今年先方の事情で繰り上がり、5月16日に行われました。4月のニュースでお伝えし、5月13日に先方に贈りましたが、この短期間の要請に対して18人から230点

の品物を献品して頂き、先方の要望と期待に応える事が出来ました。これは、日頃からバザーの献品を意識しておられる会員が多い事の現れだと思います。皆様の意識が、公益法人としての当協会のあり方に共感し、浸透している証拠ではないでしょうか。

7月8日(水)の「はつらつふれあいの集い」には多くの会員のご協力を得ましたが、11月7日(土)の六本木で行われるチャリティコンサートへも積極的な参加を希望しております。又ペットボトルキャップや古切手も機会あるごとにお持ちいただくよう重ねてお願い致します。

杉並サロンも順調に2年目に入っています。



きたざわサロン

# マチユリテイ談話室

## 真夜中の叫び

大石 裕子



「ギャア」と夜中に叫びたくなる。新入社員当時の自分を思い出した瞬間である。

自分の考えが間違っているはずがない、やって出来ないことはないという、あの若さ特有の根拠のない万能感。その万能感を身にとっていった私は、今から思えばかなり尖がっていた。

そんな入社間もない小生意気な私を、心からご指導下さった先輩方や上司の方々には、今更ながらどれだけ感謝しても感謝しきれない。

在職中に直接ご指導いただいた先輩の定年を機に、数年前から年に一度、同じ課だったメンバーで集まりを持つようになった。当時エネルギーギッシュに働き、豪快に笑いよく食べ

よく飲んでいらした先輩方が、随分穏やかになられた気がする。「君は、何故ですか、とよく訊いたよな。」と先輩に言われた。訊いた。確かによく訊いた。時間をかけて自分で考えてみることもせず、まず訊いた。早く明快な回答がほしかったのである。

結婚し夫の海外赴任のため退職してから30年たった今、日々の生活の中で、自分の考えが間違っていたのかなと思うこと多々あり。

これはひよつとしたら無理かなと思うこと、結果がでるまで待ち続けること、よく考えた挙句に白黒つけられないこと、いずれも多々あり。我ながら性格も少し丸くなったと思う。

年を重ねるということは、こういうことなのだろうか。数々の経験と得てきた知識と生物学的な変化により、若かった頃と違う視点で物事を見つめ感じるようになる。今まで気付かなかつたものが見えてくる楽しさもある。

我が三人の子供達も成長し、長男は社会人二年目である。親の欲目もあるだろうが、彼の話の聴いていると、若かりし頃の私よりか

なり大人の意見を言う。それに対する家族の意見を聞いて、理解も示している。ということとは、あの私の尖がりは若かりしが故にという事ではなく、単に性格だったのだろうか。そう思った瞬間、また「ギャア」と叫びたくなるのである。

## 私の楽しみ

広島支部 太田 祥子



私が今一番楽しみにしている事は50歳で始めたゴルフ。そもそもゴルフを始め

ようと思ったきっかけは、職場でのコンペ参加者が楽しそうに話をされていた時、そんなに楽しい事ならやってみたいと思ったのが動機である。

まずは初心者が取り組む常道で、基礎を学ぶべくスクール通い。3か月1クルールのレッスンで2クール。レッスン終了後ラウンドの真似事。一番ホールでのティショット、うまく当たるはずもなくとんでもない方向へ。ボールを拾い上げ、グリーン周りに行きアプローチ。距離感が分からないままにスイング。

チヨロチヨロと前進、まるで尺取虫状態。次はグリーン上でのパター。当てるだけが必死で、傾斜や芝目を読むことなど夢のまた夢。3ホールでラウンドレッスンは終了。こんな状態で続けられるのか不安で一杯。最初のラウンドはパブリックコースでのスコア142。空振り、ダフリ、トップで無駄な打数の積み重ね。このままで大丈夫なのか疑心暗鬼。しかし始めたからには頑張ろうと覚悟を決める。職場のコンペでダブルベリアの計算とはいえスコア127で初優勝。その後回か嬉しい思いをさせてもらえた事で病み付きになり、現在まで継続。

ゴルフは体で覚える競技とか。年を取っても足腰が丈夫なら続けられるとか。あるコンペメンバーで大正生まれの方を知っている。男女差は有ろうが、わが身を考えてとまだまだ楽しめるはずと奮起し筋力低下防止にと週4日〜5日プールで500メートル〜1000メートルクロール・平泳ぎ・背泳ぎを混ぜて泳ぐと共に、20分〜30分の水中ウォーキングを行う。年相応に飛距離は落ちるが、落ちる速度が少しでも遅ければと日々努力している。

仕事をリタイアすると知り合いが少なくな

るのが世の常。幸いにも日退協広島支部の紹介を受け入会。ゴルフ同好会へ参加の機会を得た。お陰さまで異業種・老若男女の方々とのお知り合いが増えた。別のコンペ仲間とは海外遠征と称してハワイ、オーストラリア、東南アジアでのプレーや北海道、沖縄等への遠征。これもゴルフをしていたお陰と思っている。

ラウンドの日は、楽しい一日が送れると同じ時に山で綺麗な空気を吸い、森林浴が行えると思うとワクワク感で一杯。メンバーにご迷惑をお掛けしないようワッセワッセと小走りの日が続く。成績云々より折角の出会いの時、スコアーを気にせず和気藹藹のプレーを楽しみたい。これからも体力が続く限りゴルフの楽しみは大切にしたいたいと思う今日この頃です。

## 忘れられない一曲

黒木 重昭



クラシックの名曲はひっそりと私の生活の中で息づいている。と言っても、な

にが何でもクラシックでなくてはならない、

というほどヘビーな愛好家というほどのことではなく、たとえばその楽しみ方は、ゴルフに向かう車を運転しながら自分の好きな曲を聴き、なるべくならのんびり走れる一般道をコースに向かうというようなものである。今日のゴルフは少し気合を入れてしっかりやらなくてはならないな、という時は、ウィーンフィルのニューイヤークンサートのCDを選び、ラデツキー行進曲のような曲で気持ちを鼓舞し、落ち着いたプレーをしなくてはいけない時にはショパンのピアノ曲集を、楽しい気持ちで一日を過ごしたいなというゴルフの日には喜歌劇のメリー・ウイドウを選ぶ、というような聴き方なのである。

そんな私のクラシックとの付き合いであるが、忘れられない一曲を選ぶとこの曲ということになる。

もう半世紀も前になってしまいが入社試験を受けるときに私を助けてくれたその曲は、グリーグ、ペール・ギユント組曲の中の「朝」である。私の通う大学は東京から100キロほど離れた関東の地方都市にあった。都内にある出版社の入社試験を受けるには遅くとも8時くらいには都心に着いていた。新幹線などの無い時代、儉約で急行や特急には乗る

ことはできないから、どうしても早い時刻の列車に乗らなくてはならない。ところが、貧乏学生の私は目覚まし時計を持っていなかった。5時に目を覚ましたい私は思いついてラジオの電源をONにしたまま、NHKにダイヤルを合わせておくことにした。当時、NHKは深夜放送を流していなかったので午前0時になると放送が終わり、5時になると「目を覚ましなさい・・・」と呼びかけるように優しいメロディーが流れ始める。枕もとでいとしい人がささやくようなその曲に励まされて、私は勇気を出して寢床から這い出て出発の準備をするのであった。

結局その出版社では学科試験に続いて適正テスト、面接が3回あって都合5度、入社試験を繰り返したのだが、そのたびにそのメロディーに励まされて都心に通うことが続いた。決まるまでに2か月くらいかかったのだが、迂闊なことに私はそれが何という曲なのか知ろうともせずに過ごしていた。いま思うと我ながら不思議なのだが、マスコミへの応募者は当時から多く、その出版社も学科試験を受ける学生だけでも1000人ほどいて、入社が認められたのは同期9名だけであった。しかも、私はその社が第1番目に受けた出版

社だったので、他の新聞、テレビなどの各社を受けることなく、たった一つ受けた会社に入社が決まってしまったのであった。決まっただけでしばらくしてその曲を知ろうと私はレコード店に出かけ、店員さんに話をして「朝」であることを知った。

いま私は、その後の長い出版社生活が、そういう「朝」から始まったことをしみじみと思いつくのである。

## 競馬の楽しみ方

広島支部 新延 伸雄



先頃、厚労省の調査によるとわが国のギャンブル依存症の数が推計で536万

人に達するとの報道があり、一寸とした話題となつてゐる。それによるとギャンブル依存症は、その名の如く精神疾患の一つとされ、治療を要すべき「病」と定義付けられている。もともと日本人には「一発逆転」とか「起死回生」という言葉を好んで使うように、土壇場での神風に期待する、神頼み的な国民性がある。

学生時代、会田雄次の著作に接し、その中で日本人の国民性を「集団ヒステリー症状」と表現されたことが何故か印象に残っている。ヒステリーⅡ「病」と捕らえれば、ギャンブル依存症もこの民族特性に由来するものかも知れない。

それはさておき、先般、私は広島支部の月例会において講演の機会を得た。テーマは「全国競馬場紀行」、聴衆100名を超える中で約40分間のスピーチである。勿論、聴衆者の中には競馬を知らない人もいることを想定し各競馬場周辺のグルメ、温泉等観光情報も織り込みながら話を進めて行つた。ここではその導入部で語つた競馬を楽しむ極意のようなものを披露してみたいと思う。

競馬が趣味だというと必ず「それって儲かりますか」という問いが返ってくる。私はそれに対し、こう答えている。「儲かりませんが、但し他の趣味でも多少なりとも費用は掛かる。何とかその範囲で負けを抑えるよう楽しんでゐる」と。競馬は半世紀近く接して来た私にとつても難しい。25%の控除は仮に千円買ったとしても最初から750円を起点に挽回する訳だからトータルでプラスにすることは至難の業である。しかしモノは考えようで75%を分岐

点と考え、残る25%は競馬という推理ゲームを楽しむコストと考えれば、他の趣味と何ら変わらないものと考えることが出来る。

英国にはブックメーカーという公認の賭け業者があり、競馬はもとより、あらゆる事象を賭けの対象とし事業を成立させている。先頃のノーベル文学賞における村上春樹の掛け率は3.5倍、つまり千円掛けて彼が受賞すれば3500円戻って来るというもので、極めてライトな感覚で賭けを楽しむ文化が根付いている。一方で日本の賭け文化は何ともへビーでダークなイメージが付き纏う。冒頭、述べた国民性由来のものであるが、今やグローバルな時代、カジノ解禁も議論されるなか、健全な賭け文化の定着が今こそ求められる時期に来ているのではなからうか。

## 絵画オークション (クリスティーズ)の思い出

福島 龍郎



長い間、会社勤めをしていてと本人の能力や適性に関係なく予想外の仕事を担当することがある。部長時代の古い話だがそ

の仕事は、近くロンドンで開催される絵画オークションで絵画を落札の宿命である。経緯は会社の創業100周年を機に関連美術館の充実を図る為だ。当時、企業の文化活動の一環として美術館の開設や充実が相次いだ。特に、絵画は数より質が求められ有名作品の有無が美術館の評価にも直結した。

勿論、絵画の購入は画商でも可能だが今回は美術館での展示用であり、特に絵画の選択幅、真贋の調査能力、価格の妥当性・公開性等を考慮して世界の二大オークションの場を選んだ。

絵画購入の動機は別としても、問題は絵画購入の仕事がなぜ門外漢の私の担当とされたかだ。理由は簡単・明瞭である。会社の組織規定では「動産の購入」は総務部の所管とされ、従って「適任者は誰か」ではなく「総務部長は誰か」だけの問題であった。偶々、私とその職責に居たのだ。担当業務となれば能力・適性に関係なく全力で挑戦するのがサラリーマンの責務だ。翌日から専門家を訪問するなど泥縄式の「素人の猛勉強」が始まった。オークションの仕組みは日本と異なり、主催者が次々と提示額を増額し最後まで残った買い手が「落札者」となる。当然、初めの低

価格帯では多数の買い手が現れるが何時か二人に絞られる。実はこの時が「本当の勝負」の始まりで価格もここから大巾に高騰する。ただ、数億円の絵画でも落札まで時間は僅か数分だ。

オークション会場は、前方の台座に絵画が置かれその隣に蝶ネクタイ姿の主催者が立ち、場内には約500人の買い手が着席している。また、身分を隠す為場内に代理人を置き電話で参加する買い手もいる。会場の後方には多数の報道陣のカメラの列が並ぶ。

当然、事前からデマの流布など情報戦もあるが、当日の会場内でも色々な作戦や駆け引きも多い。紙面の都合で内容は省略するが、例えば「ポーカーフェイス」だ。主催者の提示額には瞬時に応諾し「顔の表情」で落札への強い決意と金額の余裕度をアピールし、ライバルを萎縮させ早めにダウンさせる戦略等だ。

素人のロンドンでの挑戦は3戦2勝1敗の結果であった。今も時々美術館を訪れるが、その絵の前に立つと改めて当時のことが懐かしく思い出される。また、負けたマネの絵「モニエ通り」を描いた作品は今もスイスで健在だろうか？



# ひとこと 「和食」

## ●贅沢な和食 伊藤春江

私はあっさりとした食事が好きです。ですから、私にとっての食事は和食なのです。

特にお刺身や生っぽいものが良いですね。それで毎年4月に友人と高知県に鯉のたたきを食べに行きます。2008年から続けているので、もう8年になります。毎年新鮮な気持ちで塩たたきと、ポン酢たたきをいただきます。藁で焼いた肉厚な鯉を口にすると、今年も食べられた幸せを感じます。また、高知ならではの名産の数々もたまらなく美味しく、現地の味を堪能できます。これが私の唯一贅沢な和食なのです。

## ●父母の和食料理

広島支部 大亀尚志

日本料理が世界遺産に登録されて久しい。精進料理、会席料理と云った類のものはいつ食しても心地良い。

私が、里に帰ると、父は皿鉢料理を手作りで、大皿に魚の頭を立て、刺身を並べ、大根は波に見立てて野菜を彩り良く散らす。兄嫁は、早朝

より五目すしや天麩羅、なます等を作ってくれた。母は明治生まれの人で、田舎料理の味も忘れられない。

今一度父母の料理を食べたい気分に分らる。

## ●私にとっての日本食 奥村 進

ある時期から、私にとって日本食は精神安定剤であり、安らぎと食後の満足感を得られ、幸せ感を味わえる特別なものとなりました。

その時期は、社会人となって、長い海外出張で、特にハードなストレスの溜まる仕事が続いた時とか、外人とのポリウムたつぷりな肉食中心の会食が続いた時は特に日本食が恋しくなったのが始まりであったように思います。その後の単身での海外生活でこの傾向が益々強くなり私にとつて、なくてはならない、切っても切れない、愛してやまないものとなりました。

## ●和食 広島支部 香藤厚子

和食は、私達日本人の体に合った食事です。四季折々の旬の食材と熟成させ発酵した調味料で調理するこ

とで、消化・吸収の良い食事となります。季節と色を楽しみながら食べること、私達の感性を堪能させてくれます。そして、住んでいる地域で取れた新鮮な野菜を食すことが体に一番吸収しやすく、栄養価も高くなると考えます。

そんな和食を、日々楽しんで摂り、健康な体で長生きしたいと常々考えています。

## ●和食と俳句 広島支部 川口 喬

友人に俳句を嗜む人がいる。彼は和食と俳句は似ており、和食の「食材」は俳句の「季語」だと言う。どちらも「食材」と「季語」を如何にうまく生かすかが肝心だと。和食は新鮮な旬の「食材」に最小限の手を加えることにより、俳句は「季語」に推敲し尽くされた最小限の言葉で置くことにより生きる。簡素であるが、日本人の四季を大切にしている日本の伝統文化として和食と俳句があると彼は言う。少なからず納得した。

## ●私の好きな和食『寿司』菊池正美

私は、海無し県の埼玉の出身のため、子供のころの魚は生ぐさくて食べることが出来ませんでした。社会人になって少しは食べられるように

なりましたが、「刺身」はいまだに手が出ず苦手です。でも、「にぎり寿司」だけは別格です。冷凍技術の発達した昨今では、生の魚も臭味がなく美味しくいただけます。寿司・天麩羅・ウナギなど、和食は味のバランスに優れています。大勢の人たちに和食の味を「口中香味」で味わってほしいですね。

## ●わたくしの好きな和食 佐久間征二

うまい味噌汁、あったかい味噌汁、それがおふくろの味なんだねえと、歌謡曲にあります。和食が世界遺産と聴いても余りピンときませんが、手近な食卓で考えてみると、先ず浮かんでくるのが、あったかいご飯と味噌汁ではないでしょうか。具は大根、ねぎ、わかめ、とうふ、油あげが良いですね。それに納豆、卵、のり、焼き魚等どれか欲しくなりますが、ちよつと贅沢でしようか。日本の伝統的な食べ物は何時までも残したいものです。

## ●和食を楽しむ 高島和子

月に一度友人と和食の食べ歩きをしています。先日行った鎌倉の「田茂戸」の懐石では板前さんの手で魔

法のように旬のものが季節の花や葉で飾り前菜が出てきます。「糸瓜青、柚子香、泉州茄子味塩、パプリカチーズ、冷製とろろからすみ、黄金玉子」。お椀、御造里、鉢物、揚物、強肴、御飯、デザートどれも感激です。

私の得意な料理は白和え、胡麻豆腐、蕪蒸、五目豆など友達に喜んでもらっています。お店で作り方を聞き、レパートリーに加えています。これからも食事を美味しく味わう楽しみを続けたいと思っています。

### ●和食の魅力

田村俊子

鰹のたたき、貝の潮汁、筍ご飯、分葱のぬた、空豆の塩茹で等、旬の食物で初夏を味わえる幸せ！日本に生まれて良かったと思う一瞬です。和食の魅力は、昆布や鰹節からうまれる「うま味」を上手に使って健康に良く、美しく、おいしい料理を作れることです。大豆から味噌、醤油、豆腐、納豆を作りだした日本の素晴らしい世界に誇れる食文化、母から教えられた家庭料理の味を次の世代に伝えられたらと思います。

### ●にぎり寿司 広島支部 樽谷 彰

一般的に和食と云えば、すぐ思い

浮かぶのが「にぎり寿司」でしょう。近時日本に来られる外国人も食されるようになったことを聞いています。

又、諸外国にも日本のお寿司屋が進出して賑わいを見せているのと、嬉しい限りですね。私も若かりし頃広島市内の中央部の繁華街の寿司屋でカウンターに座り、日本酒でゆっくり仲間と飲み交わした光景を懐かしく思い出すこの頃です。

### ●「輪食」 広島支部 土井祥平

和食とは、旬の素材にうまく手を加え提供されるものと理解している。私は飲んだくれで、それらが安くてうまい店を探し、それを確認しに行くのを生き甲斐としている。「こならまずまずか」となると、そこはいつしか気が合う仲間とワイワイ、ガヤガヤ、和気藹藹の「輪食」の場となり宴が始まり、飲んで酔う程にいつの間には時は過ぎ、メにお茶を頂いて家に向う時はこの世の極楽。翌朝、記憶に無い事が多いのは歳の成せる技か？

### ●「和食」は「食」のみにあらず

富川 正

最近の「和食」のマスメディア的

騒ぎ方は寂しい気がします。専ら技術のみ磨いたシェフが映画セットのような店で頑張っている。

利休は二畳の空間に宇宙を広げてみせてくれました。自然との調和・尊重が無形文化遺産登録の大きい要素だと理解しています。食材、器、料理とその空間や背景を誰よりも私たちが大切に感じ取りたいものです。誕生日に京都の店で食べる鱧シャブが私の「和食」。

### ●和食は母の味

広島支部 外前田恵

和食と言えば何となく高級料理屋や寿司屋を連想する。素晴らしい器に盛り付けられ見た目にも美味しそうな料理、これも良いものです。私が育ちざかりのころ、母が忙しい中、里芋を蒸かし、丁寧に皮を剥ぐ。胡麻と砂糖、それに味噌をすり鉢で摺り合わせる。それに里芋を入れ、味噌と絡めてとろみを出す。これで里芋の素朴な味が出て、美味しかったこと、今でも思い出す。母の「里芋田楽」が私にとっての和食かも。

### ●「和食雑感・老人給食」 湯藤洋子

私は30年近く地域の一人住まいのお年寄りに対するお弁当作りのボラ

ンティア活動に携わっています。お弁当は和食を中心にできるだけ塩分控え目を心掛けております。コスト的にも限りがある中、春の筍ご飯や秋には栗ご飯等、旬の食材を出来るだけ取り入れる様になっています。主婦が作る家庭的な味のお弁当を心待ちにして下さるお年寄りのお顔に接する時、ささやかな生き甲斐を感じています。

### ●和食の定義 横堀尚昭

ユネスコの無形文化遺産に登録された和食とは？ この疑問から申請書を農林水産省のホームページで調べてみた。

驚いたことに、特定の和食ではなく、「食に関する慣習」を「和食の無形の文化」として包括している。和食の特徴として、多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、栄養バランスに優れた健康的な食生活、自然の美しさや季節の移ろいの表現、年中行事との密接な関わり、を挙げ、「和食、日本人の伝統的な食文化」と題し、「自然の尊重」という日本人の精神を体現した「社会的慣習」として申請している。納得。

# イベントだより

## 囲碁会

### ■第49回 囲碁大会

春の囲碁大会が、5月29日（金）に市ヶ谷の日本棋院で参加20名で開催されました。

対局ルールの説明の後、開会宣言があり、対局が開始されました。張り詰めた雰囲気の中で、熱戦が繰り広げられ、左記の優績者が決定いたしました。

Aクラス 優勝 小川浄二 九段  
二位 岸上悦治 七段  
三位 恩地肇 六段  
Bクラス 優勝 原通夫 二段  
二位 浜野幸弘 二段  
三位 安部貞至 初段

### Aクラス 小川浄二 九段

会社の先輩に勧められての初参加から20年近くになる。和気藹々とした本大会の雰囲気が好きで、年2回ほとんど碁友を誘って参加して来た。囲碁は健康によく、特に脳の活性化

に効果大であると信じており、何より集中して楽しめるゲームであることに教えて喜ばれるやりがいも感じている。

この度は、九段という名譽ある段位での優勝より、元気に対局出来た方が嬉しく思った次第である。

願わくば減少傾向にある参加人数（今回20名）を30名以上にしたいものも期待している。

### Bクラス 原通夫 二段

今回二度目の優勝をさせていただき有難く思っています。

対局したのが、計らずも全員毎月の同好会「悠クラブ」で顔を合せ研鑽を重ねている方達だったので嬉しいのではないかと思っています。

これからも頑張りたいので、ご指導の程よろしく願います。

\*次回は10月30日（金）の開催を予定していますが、50回の記念でもあり、30名以上の参加で何か趣向をこらした大会にしたいと思っています。  
（上村洋一）

## 江戸東京歴史散歩の会

### ■第73回 下谷七福神巡り

（1月7日 参加者57名）

平安時代にインド、中国、日本の雑多の信仰を聖数の7に合わせて福德を授ける七福神信仰が始まり、室町時代には七福神に仮装した風流行列などを出現させた。その後ますます盛行して、江戸時代中期1780年代に谷中で始められた正月の七寺社詣りが七福神巡りである。これが年を経るごとに盛んになり江戸後期には各地に現在のような七福神巡りが確立されたと言われている。都内では、最近始まったものも含め30以上の七福神巡りが実施されている。13回目となる今年は、昭和52年に定められた下谷七福神を詣でた。

当日は天候もよく57名の善男善女の参加をいただいた。最初の参拝所は元三島神社（寿老人）。鶯谷駅に隣接しており、本殿地下の店を始め、飲食店やホテルに囲まれているが、

境内は神社独特の張りつめた空気が

流れている不思議空間。境内や社殿

の規模に似ず同社の例祭は大規模で、

九基の御神楽、木遣り連、手古舞い

の舞子連などの大行列が出る。続け

て入谷鬼子母神（福祿寿）、英信寺

（大黒天）に参拝。英信寺の大黒天

は「三面大黒天」で正面は大黒天、

右面は弁財天、左面は毘沙門天、後

部には宝珠形光背をつけているユ

ニークなご尊像で、1590年代の

寺の創建当初から安置されていると

伝えられている。つづいて法昌寺

（毘沙門天）、弁財院（弁財天）、飛

不動尊正宝院（恵比寿）に参拝。飛

不動尊は病魔や災害を「飛ばして」

くれると人々から信仰されてきたが、

近年では「飛ぶ」ことから航空安全

の守護神として有名になっている。

この後、コース途中にある樋口一葉

記念館に入館。一葉関連の諸資料を

見学かたがた少々疲れを感じていた

ので皆さん館内の諸所でひと休み。

元氣を取り戻し最後の寿永寺（布袋

尊）へ参拝し今回の七福神巡りを終

了。いずれの社寺も多勢の人々で賑わっていた。皆さん今年も福徳を授かりましたでしょう。(星 洋二)

## ■第74回 新宿界隈散策

(4月21日 参加者49名)

前日までの荒れた天候から、曇天ながら、風もなく温かい日和となり約50名の参加者を得て、日本一の歓楽街「新宿」を訪ねた。

新宿を通る江戸時代に整備された五街道の一つ「甲州街道」は、日本橋から甲府を経て信州の下諏訪に至る街道である。日本橋から一つ目の宿場「内藤新宿」は高井戸までの距離が長く不便であったためその中間に作られた宿場である。その敷地が信州高遠藩内藤氏の返上した屋敷地であったことと新しい宿の意味から「内藤新宿」と呼ばれ新宿の起りとなりて発展してきた

集合場所は淀橋浄水場の跡地に建設された東京都庁の展望台としたが、来場者は外国人、特に中国からの観光客が多いのにびっくり。

高さ200メートル余りの展望室から地上に下り花園神社に向けてスタート。高層ビル群の間を抜け、大

ガードを潜るとそこは歌舞伎町。何時もながら人が多い。旧コマ劇場跡地に出来たビルの屋上からは「ゴジラ」が地上を睨んでいるのも変貌の一部。朱塗りの社殿が鮮やかな花園神社に到着。この神社は新宿のまちの守り神で、11月の「酉の市」では熊手を売る露天商や見世物小屋が並ぶ。

次は三ノ輪の浄閑寺と同様、内藤新宿の飯盛り女たちの投げ込み寺であった成覚寺、針供養と同時に裁縫の腕の上達を祈願する事で知られる正受院、そして江戸地蔵の三番地蔵、江戸三閻魔の閻魔像、新宿山手七福神の布袋尊が安置されている太宗寺を巡る。次は水番所跡で有名な四谷大木戸跡碑、玉川上水水番所跡を見て最後は、上野寛永寺の表鬼門に対し裏鬼門の役割を帯びていた天龍寺を参拝。この寺院には江戸三名鐘の一つとされる梵鐘「時の鐘」が現存する。今回は何時もより長距離を歩き、少々疲れたが、新宿のネオンを眺めて元気が出た処で解散した。

(内田 厚)

## 園芸クラブ

今年の上半期には、1月に例会と新年会、3月に例会、5月に屋外イベントを行いました。例会では、皇帝ダリアやえびね、ばらの手入れなどの園芸談議が中心でした。5月14日(木) 神奈川県立フラワースェンター大船植物園にて「芍薬・ばら鑑賞会」(参加者15人)

JR大船駅に11時半に集合し、笠間口から徒歩10分ほどの「レストラ・ミカサ」(昭和11年に松竹大船撮影所と共にオープンし映画人たち



芍薬

に愛された洋食屋)で昼食の後、駅に戻り、西口バスセンターから路線バスで大船植物園へ向かいました。大船植物園は、農業試験場跡地を利用して芍薬、ハナシヨウブ、ばらやしやくなげを中心に育成、展示して50年以上の歴史があり、芍薬は200品種、ばらは350品種を栽培して鑑賞に供しています。

芍薬は、中国原産の多年草で古くから薬用に用いられ日本には平安時代に薬用植物として渡来しました。江戸時代後期には園芸植物として盛んに品種改良が行われました。ぼたん科に属しますが、ぼたんは木本類、芍薬は草本類です。



ばら



園芸クラブの皆さん

ばらは紀元前から栽培されていたとされ、ヨーロッパ・中国・日本などに自生する野生ばらが主な交配親となつて最も品種改良の進んだ花といわれています。

今年春先から気温の高い日が続き花暦が例年に比べ半月近く進んでいることや台風6号の影響で花が傷んでいることを心配しましたが、幸いに芍薬は遅咲きの株が満開、ばらは各品種とも最盛期の状況にあつて十分楽しむことができました。

また、カラタネオガタマ(唐種招霊)という熱帯アジアなどに分布し

クリーム色でバナナに似た香りを漂わせる花をつける珍しい植物との出会いもありました。

晴天に恵まれ多くの来訪者で賑わっていました。参加者の中から「二度来てみたいと思つていたので、今回の企画は有難かつた」との声を聞くのは嬉しいことでした。

(杉山 功)

## 鎌倉探訪

### ■14回 鎌倉探訪

(4月10日 参加者29名)

花冷えの鎌倉駅前からのバス乗車で、本日の探訪が始まった。今回のテーマは「陽春の鎌倉に重文仏像や名庭を持つ古刹二寺を巡る」。先ず訪れたのはバス終点の**鎌倉宮**。後醍醐天皇の皇子大塔宮護良親王が祀られている神社で、明治天皇が親王の功業を称え、明治2年に創建された。若くして非業の最期を遂げた親王の無念を思う。鎌倉宮から歩いて10分足らずで**永福寺跡**に着く。源頼朝が建立した鶴岡八幡宮寺、勝長寿院と共に三大寺の一つであった所(現存は鶴岡八幡宮のみ)。奥州藤原氏や



虚子記念館にて

義経らの鎮魂の為、中尊寺を模して建てたが、壮大さの名残りが二階堂という地名になった。発掘調査等が済み、本年度中に歴史公園としてお目見えする予定。昼食は近くの**鎌倉虚子立子記念館**で、見学を兼ね休憩を取った。俳人**虚子**と立子父娘の作品等が展示され、説明を受け暫し俳句の世界に浸った。午後からは今回のテーマとなる**瑞泉寺**と**覚園寺**だ。館から10分強歩くと、花の寺として有名な**瑞泉寺**、名僧**夢窓疎石**(国師)開山で、鎌倉五山に次ぐ関東十刹の第一位とされた。名刹だけに昔



鎌倉宮にて「朝のミーティング」

から有名人の訪問も多く、徳川光圀が滞在し、吉田松陰が米国密航に失敗する前に立寄っている(松陰の母方の伯父が住職だった)。境内には大宅壮一評論碑や吉野秀雄歌碑、久保田万太郎句碑などが有る。本堂裏手は**国の名勝**となる**庭園**であり、京の天竜寺や西芳寺へと続く疎石作庭の禅宗庭園の始まりとされている。

最後の探訪先は30分程歩いた山裾の**覚園寺**。本日一番の見所で最も鎌倉を感じる寺である。北条義時が大倉薬師堂として作り、北条、足利の時代を通し為政者の厚い保護を受けてきた。**薬師如来**、**日光菩薩**、**月光**

菩薩や黒地藏等の国重文の仏像が多い。中でも**十二神将立像**に纏わる伝説が面白い。義時が源実朝暗殺の折に危うく難を逃れたのは、十二神将の戌神将が夢枕に立ち、実朝に随行しないようお告げがあったからと伝わっている。又、鎌倉最大の茅葺きの仏殿の天井に、足利尊氏直筆の棟札が残っており、尊崇の篤さを物語っている。一日中重く垂れこめていた雲から、雨雫が落ちてきたのは覚園寺が出る頃で、イヌマキの巨樹や太郎庵の椿がしつとりと濡れていた。陽春とはならなかったが、仏像や庭園を堪能した一日であった。

(加藤文男)

### ■115回 鎌倉探訪

(5月19日 参加者29名)

前日の雨も上がり、薄曇りの下、鎌倉駅西口から全行程徒歩の探訪が始まった。今回のテーマは「臨済宗の祖**栄西**と**北条時政**の没後800年を偲ぶ」。後述するが、同時代の二人は聖と俗ほど違う。全く対照的な人物であった事が理解できた。

まず訪れたのが**壽福寺**。栄西開山の臨済宗の古刹で鎌倉五山第三位だ

が、建長寺や円覚寺より歴史は古い。寺域は源義朝(頼朝の父)の館跡で、北条政子が頼朝逝去の翌年に、菩提を弔う為に此処に寺を建てた。五山の中でも唯一非公開寺院だが、仏殿安置の**宝冠釈迦如来**を硝子越しに拝めた。栄西は臨済宗を日本に伝えただけでなく、「喫茶養生記」を著し、茶の効用を唱える等、文化の先駆者でもあった。実朝が宿酔の時に茶を勧めたとの話も残っている。酒飲みへの気遣いは抜群です。

栄西や時政と所縁は無いが隣接の



婦人子供会館にて勉強会



鶴岡八幡宮石段下にて

**英勝寺**に立寄る。現存唯一の尼寺で、代々水戸徳川家の姫君が任職を務めた格式高い寺。もともとは太田道灌の末裔である英勝尼が、徳川家光から道灌の屋敷跡の当地を拝領し寺を建てた。花の寺として人気がある。

午前最後の訪問先は**鶴岡八幡宮**。鎌倉の顔とも言える中心部であり、数々の歴史の舞台となった。静御前が義経を恋ながら舞ったのも此処だが、静を吉野山で捕らえて京都から送ってきたのが北條時政。時政には敵役がついて回るようです。昼食は

鎌倉婦人子供会館で取り、食後にガイド協会の講師から、栄西と時政に関する楽しい講義を拝聴出来た。

午後一番は**妙本寺**へ。時政の謀略で滅亡した比企一族の菩提寺だ。境内には、二代將軍頼家に嫁した比企氏の姫君若狭の局や幼な子一幡の無念を思わせる堂や塚がある。頼家排除を企てた時政により妻の実家が滅ぼされてしまったのである。海に近い**一の鳥居**へ向かうと、畠山重保の墓と伝わる**宝篋印塔**があるが、此処も時政とその子義時の謀略により、畠山氏が滅ぼされた所だ。(父重忠は二俣川で戦死)。此処から近くに**和田塚**がある。義時の謀略で和田一族が滅亡させられた場所と言われ、戦死者を埋めた塚との伝承がある。

午後の探訪先は血腥い旧跡ばかりで、鎌倉時代初期の政争の凄まじさを物語っていた。宗教と文化に生き残った栄西、政治と謀略に生きてきた時政。何やら名前までが人生を表しているようで可笑しいが、俱に得意分野を生き長命を全うした。(加藤文男)

## カラオケ同好会

現在、13年目に入りました。会員は女性4名男性13名の17名です。年6回開催で隔月奇数月の第4土



曜日2時から5時までです。

会費は3千円で飲み物とオードブルが出ます。

会場は銀座7丁目のクラブサロンデボンです。歌は全員唄いたい歌を3曲申し込んで頂き順番に1曲ずつ唄います。レパートリーは自由です。入会を希望される方は事務局までお願いいたします。(日高三誠)

## 木楽会

3月30日から4月4日まで6日間、我々の成果を発表する展覧会を築地の茶の実倶楽部で開催しました。作品の大きさは前回まではA4用紙にB5の絵に統一していましたが、今回は一点を統一規格にし、他に自由サイズの作品を制作し展示しました。大小の作品が並び変化に富んだ楽しい展示と大変好評でした。作品とは別に多色刷り木版画の制作手順を説明するコーナーや、使用する版木、和紙等の材料、彫刻刀、ばれん等も各種展示し多くの方に関心をもっていただきました。

この会は毎月第二、第四金曜日に日退協の会議室に集まり勉強会をし

ていますが、年二回の外部研修もすることになっています。

メンバーは木版画の好きな60代から90代のシニアで、講師はおりませんが木版画に関する技術の動向、新しい材料等の情報交換や、各自の作品についての制作意図、技法等を話し意見を述べあつてお互いのレベルアップをはかっています。キャリアも1年から50年と幅が広く、経験の少ないメンバーも時には教えてもらいながら各自の個性と感性を發揮して作品を制作しています。

木楽会は会員の相互研鑽を旨としていますので、授業料に相当するものも徴収しない気楽な会です。これから年賀状や暑中見舞などの制作を始めるのにも良い機会だと思えますので、お気軽に勉強会の見学においでくださるようお待ちしております。

(木村 孝)

## 詩吟同好会

懇親会や山歩きでも詩吟体験を

詩吟同好会も2年目に入り、声の出し方から始めたのが、もう各自がすっかり詩吟に馴染んでいます。



各地で行われる吟剣詩舞道大会やコンクール等、会員同士で誘い合わせて見学に行くようになりました。吟詠だけでなく、吟剣詩舞をみて演ずることの楽しみを知りました。この半年間は、自分に合った音程による伴奏曲で、自宅練習もするようになり、少しは自信が出てきたかなといった処です。

漢詩は、七言絶句、五言絶句と律詩があり、夫々吟じ方が違ってきますが、まずは馴れる為にもより回数多く「素読」に力を注いでいます。教室では、他の人の吟を聞きなが

ら、様々な注意をされるのを参考に、同じ詩文を選んで比較しつつ、皆で励まし合って頑張っています。

この間に、会員の一人が所属した高齢者大学卒業式の懇親会で、一吟を披露することとなり、吟じた結果喝采をえて詩吟の心地良さを納得。

もう一人は女性会員で、山歩きのイベントに参加した際、昼食休憩中に日頃練習の詩吟を披露し、思わぬ反響がありすっかり自信を得たと。

一方で、今後の課題として新しくは合吟（二人以上で一緒に朗詠）で舞台上立ってみようということになり、3年目に向かって準備中です。

決して欲張っている訳ではありませんが、少し緊張感のある舞台上立たせてもらい、腹からの声を堂々と張り上げながら健康維持を図ろうとしているのです。

ご賛同の方は是非ご参加ください。  
(詩吟同好会講師 薄井是道)

## 自然を楽しむ会

### ■第50回 皇居東御苑

(4月9日 参加者31名)

前日の荒天からは予想できないよ

うな好天に恵まれました。30名を越す参加者が東西線・竹橋駅前に集合。初参加が10名、ご夫婦が5組も。

平川橋からお濠をわたって門内の受付で入園札を貰うと、その先は厳めしい雰囲気はなくなって、整然と広がる花と緑の庭園の景色です。新芽が吹出して緑の色も一様でない

木々が続き、アセビ、ユキヤナギ、シヤクナゲ、クルメツツジ、ミツバツツジ、ハナニラ、シヤガ、ヤマブキ、ハナカイドウ、ホウチャクソウ、ヤマブキ、シロヤマブキ、イカリソウ・・・と枚挙しきれない春の花。

ソメイヨシノは終わっても見事な里桜・八重桜が妍を競い、珍しいところではオドリコソウの群生やエンコウソウの黄花もありました。沢山のイロハモミジの小さな赤い無数の花も新葉の緑と相俟って「モミジは春も見頃なのだ」と感じさせられました。

東御苑のあと、我が一行は北の丸公園を縦に抜け田安門から九段下に出て、3時少し前に解散しました。なお今回は雑草シリーズ(ミニ図鑑)第14回を各参加者にお渡ししました。

### ■第51回 高尾山(八王子市)

(5月14日 参加者17名)

装いを新たにしたばかりの高尾山口駅に10時半集合。強力な台風6号が過ぎ去った後で、爽やかに晴れたとても行楽向きの日。

駅前の大きな全山案内図を使って今日の行程を説明してから17名がいよいよ出発。ケーブルとリフトに分かれて登り、山上駅から歩いて「高尾自然動植物園」に入園。1時間の休憩中に昼食とさる園見学(任意)。

午後は野草園の狭い木道を長い列を作って丹念に歩いて多くの野草と出会う。しかし見頃の花を咲かせていたものは意外と少なく、タツナミソウ・ハナウド・クサタバナ・ヒメシヤガ・オドリコソウ・フタリシズカ・ミヤコワスレ・ヒメウツギ・チヨウジソウなど。

野草園を後にしてからは、爽やかな木陰の1号路下り道を、小休憩を何度か取りつつ、キツツキの快く叩く音を聴きながら、またコゴメウツギやマルバウツギの白い花に励まされながら歩いて歩いて、高尾山口駅前で解散(午後3時)。

なお朝の受付時に高尾山案内パンフレットと雑草シリーズ第15回を配布しました。(店網俊夫)

## 水墨画教室

### ■第38回東邦展開催

(於 東京都美術館 4月18日～4月23日)

恒例当展覧会は、書道と水墨画の公募展であり、我が教室からは9名12点の作品が出品展示され、めでたく受賞された方は、次の通り。

(東邦院賞) 宮田教子

(特選) 土井孝雲・比留間文子

(秀作) 大塚陽水

受賞された方々に心よりお祝いを申し上げ、益々のご活躍を祈念致します。

### ■日本水墨院設立30周年記念

日帰り旅行会開催

(5月15日・参加者34名)

本年は日本水墨院設立30周年の記念の年であり研修旅行の一環として開催され、我が教室から5名が参加しました。北関東方面、館林つ、じが岡公園及び足利フラワーパーク藤



の花まつり他、設立30周年記念にふさわしい「花」を主テーマとし、各支部会員の交流親睦の好機会との主旨であります。まず好天氣に恵まれ、上野駅公園口に集合、バスにて定刻

発車オーライ目指すは館林つゝしが岡公園、そして足利フラワーパーク。時季的には最盛期には遅いと感じていたが、今年の4月の気候はあまりにも高温等異常であり、百花繚乱の地は、どこにもなく夢と化した事は、誠に残念でありましたが、太田・新田の庄・寒山亭での昼食懇談60分之余裕もできた。最後に訪れたばんな寺は、もともと足利氏の館であった。国宝に指定された本堂も見る価値十分でした。足利学校は宣教師ザビエルをして日本で最も大にして最も有名な坂東のアカデミーと海外に伝えている事に注目！北関東のこの地に存在している事が、すばらしくそしておもしろい。  
(須釜栄作)

## 竹とんぼ同好会

正月はゆつたりおせち料理でお屠蘇となるとバックグラウンドミュージックは雅楽もよいですね！ とい

うことで1月例会では竹で出来る雅楽器・笙に挑戦しました。本物は多くの竹管を複雑にまとめてできているようですが当然私たちが作る楽器は簡単な構造。

画像で縦に写っている細い竹の先にプラスチックの薄板を差込み、太い竹に嵌めると立派な笙が出来上がります。音が大量で、まるで本物の笙のような音色です。先生は粹な計らいをしてくれていて、あまり一生懸命吹き続けると血圧が上がるというので吸い口にゴム風船を膨らませてセットして鳴らそうというものの。その結果、大変な事態が生じて



笙を作る材料

しまいました。吹き口を指で調節すると夜泣きソバになったり、豆腐屋さんになったり。全員が止まらなくなり事務局の皆さんには大変な騒音でご迷惑をおかけしました。

「はつらつふれあいの集い」が近付いた5月の例会は「天井トンボ」の制作。トンボの羽の幅に対して限度一杯長さをとり、上手く飛ぶギリギリの細長い羽根を付けたトンボです。上昇力が期待できる設計で、完成品を上手く飛ばすと一気に天井まで上昇し、張り付いたようにしばらくく回っています。従ってこのトンボは羽根の裏側をお化粧するのです。見上げると、各自でデザインした綺麗な模様が回転して綺麗でした。「ふれあいの集い」のテーブルでご披露出来たらと思います。今回の「ふれあいの集い」では希望者にお土産の竹とんぼも準備しています。楽しんでください。  
(富川 正)

## デジカメクラブ

4月の例会は、折しもお花見の時期になりましたので、桜をテーマに撮影会としました。

浅草吾妻橋に集合して、隅田堤兩岸を自由に撮る事になりました。あいにく、今にも雨の降り出しそうな空模様で残念な採光でしたが、雨には遭わずに済みました。

浅草に詳しい仲間案内で、永井荷風が毎日のように通ったと言う「アリゾナキッチン」というお店で、名物のチキンとレバーのデミグラスソース煮をいただき、今回の撮影会のお開きとなりました。  
月例会は、毎月・第一水曜日・1時半から日退協の会議室で開催しています。

皆さんの作品を会議室のパソコンで再生し、テーマや撮影条件などを発表、それに皆さんから忌憚のない意見・評価を出し合ったり、時にはカメラやプリンターなどの技術情報を持ち寄ってのプレゼンなどで、デジカメライフを楽しんでいます。自分身のことですが、皆さんからの適切なアドバイスにより、撮影する際に「構図」を意識する姿勢が出来てきたように思っています。

フィルムカメラからデジカメに持ち替えて十数年になりますが、まだまだ進化しています。

## 歴史を考える会

### ■第138回、第139回

『シベリア鉄道紀行史』を読む

講師 佐野 了会員

(12月22日、1月26日)

和田博文『シベリア鉄道紀行史』

(筑摩選書 2013年1月)をテ

キストに発表がなされました。

日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦後のシベリア抑留、日ソ友好回復等々、20世紀の日本史は、このシベリア鉄道を抜きにしては語れません。

『シベリア鉄道紀行史』には「アジアとヨーロッパを結ぶ旅」との副題がついていますが、かつてシベリア鉄道を利用した日本人政治家、思想家、学者、作家、ジャーナリストなどの人たちが実際に目にしたことや証言がまとめられています。

シベリア鉄道に対する日本人の関心はロシアに対するあこがれ・夢と恐怖の二面性があり、現実とのギャップが語られています。

なお、今回の発表では、シベリア鉄道全図や日露戦争中に建設された

ンをかじっている人にとって示唆に富んだ行動だったので披露させてもらいます。

まず、パソコンは正しく立ち上がっているか確認。各アプリは正常。メールも正常。インターネットエクスプローラ(以降ieと略す)以外のブラウザでネット閲覧可能。要するにieがダメになっているだけと判明。それならとインターネットオプションのリセット、拡張保護モードをオン、システムの復元をやってダメ。しかし、OSの初期化は躊躇しますよね。夜8時過ぎにノートンの更新プログラムが修正されて全て解決したので努力は報われなかったのですが、この忍耐強い行動にパソコン魂を見ました。

本当はこの日パソコンを開けなくてこの事態が知らない間に解決していた人が幸せだったかも！

パソコン人頑張れというお話。

(富川 正)

5年間はセキュリティ関連のアップデートのみとなりました。一方思惑が外れた感じのマイクロソフトは評判の良い7をベースに8との良いとこどりの感じでWindows 10(9でなく)の発売準備を着々と進めています。

10の特色はサポート期限を設けないこと(使用者がいる限りサポートする)と、7以降の利用者は発売後1年間に限り無償でアップグレードが出来るということでしょう。スマホなどにとつてかわられる一面も感じられるパソコンの世界で、王者であり続けるためのマイクロソフトのなみなみならぬ意気込みがうかがえます。目下のところユーザーも要望もある程度盛り込まれているようなので、パソコンクラブの「自作パソコン」も早々に10にアップグレードしようと考えています。

ところで、セキュリティソフトでノートンを使っている会員が居られて、今年の2月21日午後トラブルに見舞われてしまった顛末を例会で発表いただきました。突然インターネットが見られなくなってしまったのです。この時の彼の対応はパソ

銀塩カメラですと「絞り」と「シャッター速度」を意識すれば良かったのですが、デジタル化されて内臓のコンピュータで様々な機能が付加され、様々な設定による撮影が可能になっています。特にフィルムの感度は銀塩では一定でしたが、デジタルでは自由に設定できます。

一番大きな変化は撮影後のプリントまで自分で出来るようになった事だと思えます。撮影後のデータはパソコン上で自由に扱えますので、写真の楽しみが撮影したところで完結するのではなく、写真用紙にプリントするところまで広がって来ました。趣味のある方はぜひ一緒に「カメラライフ」を楽しみませんか。

(細田將孜)

## PCクラブ

### Windows 10について

Windows 7は使い勝手の良さから、同8(最新は8.1アップデート)への移行があまり進んでいない状況にあります。いよいよ7はメインストリームサポート期間が今年の1月で期限切れとなり、今後

軍用鉄道、東清鉄道・満鉄本線との連絡図の説明が適宜行われて、会員への理解と配慮がなされました。

■第140回

「岡田嘉子 恋の逃避行」

講師 和泉屋正一 会員（2月23日）

今回の発表も「シベリア鉄道紀行史」に関連したもので、新劇女優岡田嘉子と演出家 杉本良吉の恋の逃避行に関するものです。

1938年1月 二人は南樺太から国境を越えて、あこがれのソ連への入国を行ないます。しかし二人を待っていたのは亡命勸迎ではなく、密入国者というきびしい取扱いでした。直ちにモスクワに移送され、裁判にかけられます。1939年9月の判決は、杉本良吉は銃殺刑、岡田嘉子は10年間の強制収容所送りでした。

岡田嘉子のその後の人生は極めて過酷なものだったと推察されますが、嘉子は絶対弱味を見せなかったようです。  
なお今回の発表では、ポーツマス条約で南樺太・千島は日本領土になった事実が、ソ連側が1959年

に作成した地図にも日本領土と明記されていることが明らかにされました。又南樺太の豊原市の当時の風景や主要な建築物の紹介など有意義でした。

■第141回

「わが現代史遍歴 第3回」

講師 鈴木俊二 会員（3月23日）

今回は「わが現代史遍歴」シリーズ第3回で、三国干渉とその後対ロシア関係から第三次伊藤内閣と藩閥政府の終焉に至る内容でした。

天皇親政のもとにおいて政府が最善策と考える諸政策が政党の数の力によって実行できない現実に対し、伊藤が自分の政党を持たねばならぬという意識を固めるに至る経緯が語られました。

■第142回

「戦後70年 火を噴く歴史戦争」

講師 梶谷 浩 会員（4月27日）

「正論」平成27年2月号に中西輝政が「国家永続をかけた100年戦争への覚悟を問う」と題して激化する歴史戦争を日本はいかに戦うべきか論じています。梶谷会員の発表は

ホットな話題となつていいる歴史戦争に関してでした。

新たな冷戦の様相を見せはじめているアメリカ及びその同盟国と中露の対立の根本にあるものは、かつての東西冷戦と同様、実はイデオロギーの対立であり、日本はこの歴史戦争をいかに受けとめ、どう戦っていくべきかについてであります。

歴史問題は決して安易な譲歩をしてはならない。

日本という国が今後安全保障上も自立できる国になるためには、日米同盟をアジア全体の安全装置として大きな存在にしていかなければならないとまとめられました。

（伊豆山寛）

チャリティコンサートのお知らせ  
——お友達などをお誘い合わせの上、ご参加ください。

2015年11月7日（土）開催 JARP 公益社団法人 日本産業退職者協会

（第12回）チャリティコンサート  
～友情と希望～

未来を拓く華麗な出演者たちが「友情と希望」をテーマに懐かしいフォークソングやオペラ・ミュージカルなどの名曲から心を打つ暖かい調べと元氣をお届けします！

昨年好評を博した出演者のメンバーのうち、お二人が代わって新たに登場～メゾソプラノ・望月友美／バリトン・塩入功司が新風を吹き込む！

ソプラノ・芝沼美湖 （二期会 会員） （MK合唱団専任講師）	企画構成／ピアノ・赤塚太郎 （北野野高専大 伴奏研修員） （文化庁派遣留学で国際活動）	メゾソプラノ・望月友美 （二期会 会員／第75回日本音楽コンクール声楽部門第1位）
		
テノール・榎葉樹人 （二期会 会員） （BS日テレ・日本のこころの歌に出演中）	フルート・谷藤万喜子 （東京芸術大学大学院修了） （JARP 音楽アドバイザー）	バリトン・塩入功司 （二期会 会員） （BS日テレ・日本のこころの歌に出演中）
		

2015年 11月7日（土） 定員 600名

開場：午後1時半 開演：2時半

会場：ハリウッドホール  
（六本木ヒルズ ハリウッドプラザ5階）

チケット：1枚 3,000円（お申込みは裏面のFAXで）

チケット1枚購入することで  
お一人お招きし、共に楽しみましょう！

＜300名様 特別ご招待＞  
福祉施設の方々をお招きして  
癒しと元氣を分かち合う  
至福のひとつとき

主催：公益社団法人 日本産業退職者協会（略称 JARP）  
後援：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会・東京善意銀行／学校法人 メイ・ウシヤマ学園

## 神奈川会

### ■第43回イベント「日本民家園と科 学館のプラネタリウム」見学

(11月28日 参加者22名)

薄日が漏れるままの天気の中、総勢22名の参加者が文化施設・歴史的建物が点在する川崎市ご自慢の「生田緑地」を訪問しました。

「日本民家園」では、3人の熱心なボランティアガイドの案内で古民家の歴史的価値や作り方などの説明



日本民家園にて

を受けました。また、園内は今を盛りの見事な紅葉で染まり、その美しさに感動！ 昼食は古民家を活用した食事処で蕎麦を堪能した方、持参の弁当を屋外のテーブルで済ませた方それぞれ優雅な時を過ごしました。

昼食後、緑地内を散策してから「宙と緑の科学館」の展示物を見学

併せて世界最高水準と言われるプラネタリウムで11月28日の星空を鑑賞しました。優しい語り口とバックミュージックに思わずうたた寝（熟睡した人もいたかも）、幸せな朝を迎えました。皆さん清々しい思いに浸り、また来たいとの声も：

解散後は向ヶ丘遊園駅前の居酒屋に14名の方が集合、それぞれ思いの感想を口にして乾杯、楽しいひと時を過ごし散会しました。

(石川義明)

### ■第44回イベント

#### 「神奈川会設立十周年記念講演会」

(3月17日 参加者38名)

昨日までの冷え込みが嘘のような穏やかな小春日和の中、掲記記念イ

ベントが新横浜・コートダジュールで開催されました。

第一部の講演会は生山匡医学博士

(山野美容芸術短期大学名誉教授)による高齢者男女共通の願いである「老後を元気で美しく」がテーマ。

優れた経験と豊富な資料に基づいた知識をパワーポイントを駆使して、

元気になるには生活習慣の改善、良い食材の摂取、少し強めの運動の継続、筋肉（特に背中側）の強化（縮めてから伸ばす）、美を保つには顔やスタイルだけでなく精神・健康・姿勢の美しさが必要；等々多くの貴重な示唆をいただきました。「元気で百歳を目指す」人もいたのでは？。

第二部の祝賀会は、榎本日退協理事長の祝辞、越中初代代表の設立時の思い出話、岩澤第二代代表の10年間の活動報告が行われました。乾杯後の懇親会では、生山先生のプロ並みの歌とウクレレ演奏というサプライズがあり、一同大拍手！ また、参加者全員で合唱するなど和気藹々なパーティが続きました。最後に神

奈川会の今後の一層の発展を祈念して万歳を三唱しお開きとしました。

(飯田吉辰)

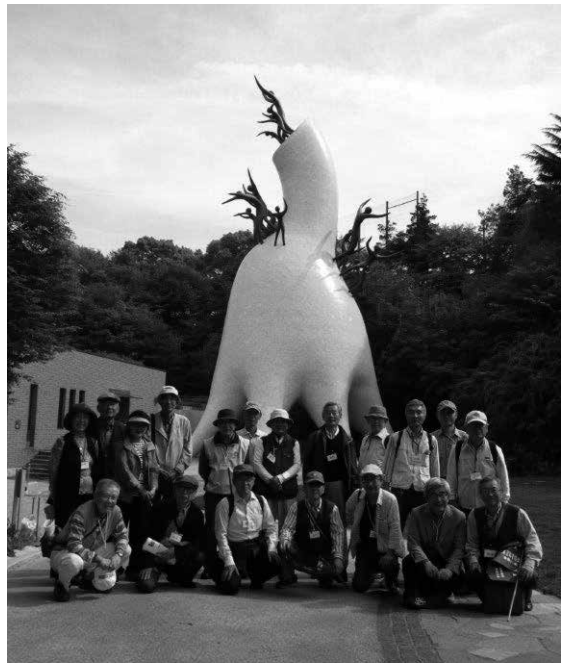
### ■第45回イベント

#### 「登戸研究所資料館」と「岡本太郎美術館」見学

(4月24日 参加者21名)

絶好のイベント日和に恵まれて、

小田急線・生田駅に集合。5万坪の広大な明治大学構内の一面にある旧陸軍の極秘作戦研究内容の展示とその関連遺構を見学しました。現存する当時の建築物を活用した資料館には、1000発以上がアメリカ本土に到達したという風船爆弾、中国紙幣の偽札製造、家畜や農産物を対象とした生物化学兵器、その他多岐にわたる防諜・謀略・諜報・宣伝工作の内容が展示されていました。女性説明員の詳細・丁寧な説明に感心し、解説ビデオを見て、一同は改めて戦争の酷さと平和の有難さを噛み締めました。引き続き構内に散在する遺構を見学してから、清潔な学



岡本太郎美術館にて

生食堂で安価な昼食を摂り、暫し若き日の思い出に浸りました。

食後、大学から上り下りがきつい坂道を20分程歩いて次の訪問先である「岡本太郎美術館」に到着。岡本画伯独特のオブジェで飾られた建物や前庭で記念写真を撮り、館内にて待ち構えていた説明員の恰も見てきたことのように語る画伯とその家族らのエピソードを聞きながら、多くの絵画・彫刻・壁画・奇抜な椅子・オブジェなどを鑑賞。この画伯の類いまれな才能と臭みを実感するひと時を過ぎました。

(飯田吉辰)

## 京葉会

### ■第12回 千住宿と松尾芭蕉の足跡を訪ねる

(5月13日 参加者27名)

心配された台風も早朝に房総東海上を通過したため、快晴の散歩日和となりました。今回は江戸東京歴史散歩の会との共催のため参加者も多く、同会でお世話になってるボランティアガイドさん2名が案内してくれます。

鼠小僧の他吉田松陰など多くの国事犯の墓がある延命寺と小塚原回向

院では、幕末から明治維新の歴史が一瞬蘇ります。

素戔スサノ雄ヲ神社(795年の開創)の境内には芭蕉の句碑もありました。

千住大橋は難工事だったようで、普請奉行・伊奈備前守は熊野神社に成就祈願し完成時にはお礼として残材で社殿を修理したという。北詰の大橋公園には元禄2年「千じゅと云所にて船をあがり」奥の細道の旅にでた芭蕉の路程表がありました。

「行春や鳥啼魚の目は泪」が矢立の初句でした。

伊豆長八の鍔絵で有名な橋戸稲荷神社に立ち寄ってから「やつちや場」跡を歩き、千住商店街の中に入



千住大橋を渡る

ると高札場跡、問屋場・貫目改所を碑や看板で確かめ、森鷗外の旧住宅は足立都税事務所になっている。下町に残る唯一の絵馬屋を通り、最後に後の將軍徳川家定が鷹狩りに訪れた時の休憩所として建てられた長屋門を江戸時代からの名医名倉医院に見つけて全行程を楽しく終了しました。

(富川 正)

### ■第13回 お写経と昼食会

(6月4日 参加者22名)

京葉会は各同好会と積極的に共同開催を勧めています。今回もその趣旨にご賛同いただいて「四季の会」の皆様と3回目の共同開催となりました。お写経も薬師寺に続いて2回目の開催となります。好天のこの日22名のご参加を頂きましたが、特に四季の会のお名前前で女性の参加者が半数を超えたのは、誠にありがたく感謝しています。

お写経の会場は、門前仲町にある成田山東京別院・深川不動堂というお寺さんで、江戸時代から下町のお不動様として親しまれてきました。近年、お写経がテレビや書籍で採り上げられることが多くなり、静かなブームとなっているようです。それ



成田山東京別院・深川不動堂前にて

も宗教的な目的ではなく、日常の慌ただしさを忘れて、ゆったりとした時間を過ごしながら、心の安らぎを求め人や、自分を見つめ直してみたいという人も多くいるようです。

そしていよいよお写経です。僧侶の方から法話とお作法の説明をお聴きしてから、皆さん真剣な表情で机に向かいました。ところが一文字一文字進むにつれて無心になっていくかと思いきや、いつの間にか心が乱れ雑念が入り、空とか無とかの境地とはまったく無縁の世界に入っていました。これも凡人たるゆえんかもしれないと、変に自分で納得した次第であります。これで功德があつた

のか、はなはだ心もとない心境でした。羯諦羯諦波羅羯諦・・・

次はもう一つのお楽しみ昼食会です。富岡八幡宮の参道にある趣のあるお店で名物深川めしを味わいました。深川めしはもともと漁師さんが仕事の合間に食べた賄料理が始まりと言われています。今回はぶっかけと炊き込みの両方の味を堪能することができ、まさに名物にうまいものでありでした。(佐久間征二)

## 埼玉会

### ■本田技研工業(株)狭山の工場見学

(2月16日 参加者30名)

世界のホンダ、特に狭山工場は同社のエース格工場で、多機種製造の名車を世界に提供している。最近人気のロボット「アシモ」、小型ジェットなど、常に話題となる魅力的な大企業のイメージがあり、県内にある超優良企業ということ、この機会にと2月16日30名の方々が参加した。まず、3階のウエルカムホールで丁寧な説明を受け、現場に入りました。ラインでは完成車組立、検査までの一貫生産を間近に見られ



本田技研狭山工場にて

驚かされました。ロボット化が進み、人間の能力を超えた速さに感心しました。

見学終了後は狭山市駅前地下「ラ イブステーション」の懇親会で、初参加者の挨拶を聞き意義ある楽しい一日でした。(富田 博)

見学会に参加した全員が懇親会にも参加し、さらに1名が加わり31名となり盛会でした。

また、入会が期待される参加者が2名おり心強いものがありません。

(当日担当幹事：薄井是道より)

### ■人形の街・岩槻を訪ねて

(4月2日 参加者27名)

今回は埼玉県東部の岩槻市を訪ねるとの案内から、興味深く参加いたしました。江戸・河越・岩槻は、関東管領足利基氏が鎌倉の前進基地として、古河公方に備える為に大田道真・道灌父子により築城されたとされています。川越在住の私には興味深い場所であり、また桜の季節という時期に願ってもない日です。

この日は前日の雨にも拘わらず好天に恵まれました。午後1時に東武野田線「岩槻駅」に集合して、まず



岩槻城址公園にて

人形の街の「鈴木人形」工房見物となりました。人形造りの歴史や現状について社長さんの案内で現場を見ました。ここでは人形の特に大事な顔や頭部に髪を付け、完成させていく細かい作業を男女10人ほどで行っていました。

その後「岩槻城跡」公園に行きますと、満開のさくらを楽しむ多くの親子連れが集い、古城こそありませんが、広い敷地で昔を偲ぶに充分な場所でありました。最後は大宮駅前の居酒屋で懇親を深め、お互いの健康を祝して散会しました。

(大野英明)

■キッコーマン野田工場見学に参加

して (6月4日 参加者31名)

6月4日(木)野田市駅に集合して「もの知りしょうゆ館」と「キッコーマン国際食文化センター」に会員31名で見学を訪れた。

「もの知りしょうゆ館」では、野田醤油の歴史は、利根川と江戸川の舟運により、大豆、小麦及び塩などの材料が入手し易く、大消費地の江戸近郊に位置したことで盛んになった。見学工程は、原料の処理↓製麴↓仕込み↓圧縮などを見学して、工

場は機械化されて、大変清潔にされていた。

その後「キッコーマン国際食文化センター」に移り、和食の無形文化遺産登録のミニ講座と展示物の観賞をして、一日有意義に過ごした。

また、市内には江戸時代の醤油製造家業とした高梨本家(上花輪歴史館)や茂木佐平治邸(野田市民会館)などの文化遺産も多く残っているので見学するのもよいと思う。

なお、解散後有志21名参加のもと野田市駅付近の「清寿司」にて懇親会を行い、大いに盛り上がった1日でした。

(野ヶ山信和)



キッコーマン野田工場にて

西東京会

■第15回イベント「観梅会」

(3月14日 参加者19名)

西東京会の今年の観梅会は「府中・郷土の森公園の梅を賞で、プラネタリウムを楽しむ会」と銘打って、梅まつり開催中の府中市の南部、多摩川沿いに広がる府中市郷土の森公園で開催されました。

午後1時、総勢19人は京王線・JR南武線分倍河原駅に集合、約20分のウォーキングで公園に到着、まずは公園内の博物館に併設されたプラネタリウムで、天井一杯に繰り広げられるアニメ「銀河鉄道999」他を観賞、童心に帰って楽しみました。

次いで広い園内に散在する約60種類、1100本の梅の木を求めて散策しました。梅まつりも最終週でしたが、中咲きの白加賀や遅咲きの紅千鳥などが多く、その香りとともに満開の梅花を満喫しました。観梅だけでなく、園内に移設復元された古い建物群を見て回ったり、梅まつりイベントの猿回しの達者な芸に拍手を送ったり、博物館のリニューアル



観梅会 府中・郷土の森公園にて

された常設展示を見学したり、会員それぞれの自由散策を楽しんだ後、公園前のバス停で解散となりました。一旦解散後の懇親会は分倍河原駅前の居酒屋に場所を移しましたが、参加者全員参加となり、関西風揚げとビールで乾杯、今日一日の心地よい疲れを吹きとばしました。

(小野利明)

## ■第16回イベント 「桜を愛でる会」

(4月2日 参加者23名)

当日は気温18度、湿度35%、素晴らしい晴天となり、TVでは気象予報士が、人が快適と感じる最も良い気象環境であると発表しております。昨年4月の「昭和記念公園」の雨中での「桜を愛でる会」を想い起すと雲泥の差でありました。当日は2時に吉祥寺の「武蔵野公会堂」第4会議室に集合しました。西東京会のメンバー18名と会以外の方5名の



懇親会風景

23名でした。先ず30分程「総会」と称し「西東京会」の活動の振り返り、本年度のイベント予定、「協会本部」のトピックス等を資料を用いて報告しました。その後2時半より4時まで約1時間半「勉強会・遺言書作成に関する知識の整理」と題しまして会員の井口紀夫氏（行政書士・社会保険労務士）の講演を、聴きました。この講演会には井口氏の聴講生として更に16名の方々が加わり、総勢約40名の盛況となりました。短時間ではありましたが分かり易く、詳しい内容の資料を作成して頂き大変参考になる有意義な時間でした。4時より全員ですぐ間近の「井の頭公園」に出向き約1時間満開の桜を堪能しました。只、桜の名所だけに池に沿っての大木の桜は見事でしたが、お花見の方々の混雑も半端ではなく、頭上は桜におおわれ、目を転じれば人の波という状況でした。5時から有志20名による懇親会を公園近くの店で行い、約3時間和気あいあいの内に幕を閉じました。尚、今回のイベントで2名の新入会員の登録がありました。

(湯藤 哲)

## ■第17回イベント 「親睦ゴルフ会」

(5月26日 参加者12名)

「西東京会」が2年前より主催・事務局として継続して参りました「日退協ゴルフコンペ（通算53回）」の春のゴルフ会です。「西東京会」の会員の方々や女性4名の参加も頂きましたが 参加人数は12名3組のコンペとなりました。今回は「GMG八王子ゴルフ場」で行いました。このゴルフ場は3年前位に国体の女子の部の競技が行われ知名度も高く



GMG八王子ゴルフ場にて

人気のコースと聞いております。因みに男子の部は同時期に隣接の八王子CCで行われたそうです。当日は五月晴れの素晴らしい天気でしたが気温は31度との真夏日となりました。少々体力の消耗も感じられました。皆様お元気にプレイを楽しまれたご様子でした。競技はいつもの通り新ペリア方式で行いました。優勝は協会の監事をされており、西東京会の世話人会の一人でもある横堀尚昭さんでした。今回の参加者での最年長者（今年80歳）です。前回のベストグロスに引続き今回もベストグロスの一人として（因みにもうお一人は塩山さん）ラウンドされそのパワーには脱帽です。ラウンド後は表彰式と簡素で短い時間でしたが和気あいあいの懇親会を持ちました。女性参加者四名の方々にも楽しんで頂けたよう。次回は更なる盛会を期したいと思っております。

(湯藤 哲)



## 女性バラエティ同好会

広島支部 女性バラエティ同好会 代表世話人 中元美智子

日本産業退職者協会広島支部は、会員710名を擁する大きな団体です。その中に26の名称も内容も異なった同好会があり、会員親睦・身心の高揚・趣味や技量の向上、社会貢献等・幅広い活動を行っています。やはりそこは男性主体の同好会で、女性会員の立場は小さく、特に家族会員は正会員の夫がたのみ・参加したものの女性のくつろげる場が見つからず、ただ空しさが募る思いです。それでも全会員数の3割は女性会員です。

平成18年11月、女性有志で一念発起して、誰でも一人でも気軽に参加できる、「女性バラエティ同好会」を立ち上げました。

その主旨は、全女性会員が仲間となつて、語り合い、健康作り、情報交換、生涯学習等をテーマに掲げました。

年4回春夏秋冬、季節に似合った企画、春はスポーツ等野外活動、夏は社会見学、美術鑑賞、慰問、訪問、日帰りツアー、秋は翌年の干支に因む置物。今では子牛寅と八干支と

なりお正月飾りの一つになっています。

1月は新年懇親会を兼ねて、私自身が色々な手芸の資格を取得していて、物作りの講師を務め、また他講師を招聘して学習と珍品製作、時にはノンプロマジシャンのマジックと恍けたトークにびっくり大笑い。その後の楽しいお喋りは時のたつのも忘れるほどです。

屋内行事を催す会場は広島市中区堺町の「ニットショップマツヤ」で、社長のご厚意に会場費一人300円、駐車場は10台分ありますが無料となっております。教材はその都度実費負担と、主婦達が参加し易い日時を決め、内容も充実感を考慮して、世話人一同、女性会員の参加を呼び掛けています。

唯今、女性バラエティ同好会は会員48名です。入会費は無料です。どうぞお気軽にご入会をお待ちしております。

ある日の中国新聞のコラム欄で、石川恭三著者が提唱する、「一読、十笑、百吸、千字万歩」の文字が目に入りました。まさに私達

女性バラエティ同好会にも指針になる言葉と  
思いました。

三人よれば文殊の知恵と申します。世話人と会員、ともにアイディアを出し合って、出合いと絆、楽しく笑い、健康と元気を求めて、これからも女性ならではの活動を目標に、全会員が喜び合える女性バラエティ同好会をめざして行きたいと思えます。



製作風景

# 公益社団法人 日本産業退職者協会 役員名簿 (50音順)

(平成27年7月20日現在)

監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	専任理事	専任理事	専任理事	専任理事	副会長	副会長	役員		
江口俊治	横堀尚昭	山田雅彦	満田将太	水上幸雄	松多昭三	藤崎大郎	橋本隆夫	佐久間征二	黒木重昭	倉片厚子	大里璋子	糸数富美江	渡部俊一	湯藤忠哲	嶋山政昭	西納政光	高島進一	上神圭二	井上国春	安藤隆夫	細江謨夫	田林巖樹	関根貞夫	有馬弘純	榎本郁夫	山鹿素雄	森本惠保	山本朗

## 参与顧問

鷺山俊男	三砂善之介	日高三誠	長澤哲夫	富川昭正	田中昭二	店網俊夫	高橋淳	鈴木裕史	鈴木俊二	芝山幸茂	越中明夫	岸藤孝子	加藤孝浩	梶谷芳夫	岩淵良信	岩澤辰雄	猪股辰雄	市川千尋	久野木行美	梶田省三
------	-------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------

## 編集後記

グラジオラスの花芽が尖った槍のように思え、ずらりと並んでいるさまを見て下手な俳句をひねってみる。

### 「関が原 グラジオラスの槍を立て」

自分が関が原の夏の陣に臨むのに、手にする武器は花の槍だけである、というような光景に見立てて・・・。

「マチュリテイ」誌の前任編集者から、思いがけずお鉢が回ってきて戸惑うばかりの作業であった。幸い、周りには手馴れた方々がたくさんいて、慣れない私を手助けしていただき、何とか発行することができてホッとしている。

この機関誌は新年にお届けした号が記念の100号。私に関わることになったのは折り返しの101号であることにちょっとした因縁のようなものも感じる編集作業であった。日退協に関わるようになってちょうど1年が過ぎ、ようやく協会の風にも慣れ、経験と実績豊富

な方々に囲まれて、今また学びのときを迎えた。みなさまに少しでもお役に立てるよう勤めて行きたいと思うのが現在の心境である。

▼身近であり誰もが気になる「認知症」の問題を、日本医科大学名誉教授川並汪一先生に特集として書いていただきました。原稿は専門誌に掲載できそうなほど丁寧に書かれ、本誌には全文を紹介できないため要点をまとめる一作業が加わりましたが、ご一読いただけると分りやすいものとなっております。せっかくの先生のご尽力を無にしないよう、ホームページに全文を掲載いたしました。本誌と併せて目を通していただけると幸いです。  
(黒木重昭)

**M A T U R I T Y ・ 第 1 0 1 号** ※無断転載を禁ず  
二〇一五年七月二〇日発行

**発行人** 榎本郁夫  
**編集人** 黒木重昭

**発行所** 公益社団法人 日本産業退職者協会  
〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸51  
第一スレートビル7階

**電話** 〇三(六二四〇)九三八一  
**ファックス** 〇三(六二四〇)九三八二  
**ホームページ** <http://janior.jp/>

# 法人・団体 会員名簿

(平成 27 年 7 月 20 日現在)

株式会社イトーヨーカ堂	株式会社千代田セレモニー	丸紅株式会社
共栄火災海上保険株式会社	トリア再保険株式会社	みずほ信託銀行株式会社
株式会社グリーンホスピタリティーマネジメント	西松建設株式会社	株式会社みずほフィナンシャルグループ
五洋建設株式会社	日本カーボン株式会社	株式会社ミツウロコグループホールディングス
JFEスチール株式会社	一般社団法人日本損害保険協会	安田不動産株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	ヒューリック株式会社	ユニバース開発株式会社
大和証券株式会社	富士火災海上保険株式会社	株式会社リサ・パートナーズ
宝酒造株式会社	文唱堂印刷株式会社	(五〇音順)
東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ベネフィット・ワン	
東京建物株式会社	丸大食品株式会社	



### ◀ 芦田川幻想花

小林 敏彦 (広島)

花火には、心温まる思い出や散々な思い出など、人それぞれの思い出があると思います。夏の一夜を楽しい思い出で彩りたい。

### できた!! ▶

富川 正

5月の日退協「きたざわサロン」で  
兜の折り紙を楽しみました。



### ◀ 京鹿の子

岡野 静江

バラや紫陽花は自己主張が強く目立ちますが、ひと際繊細な春霞を思わせる京鹿の子。趣のある庭を演出してくれます。

### 四十雀の巣立ち▶

岡野 静江

親鳥が繰り返し優しい声をかけながら何度も巣箱の雛を迎えに来ます。朝10時から午後2時までかかり6羽の雛が巣立ちました。

